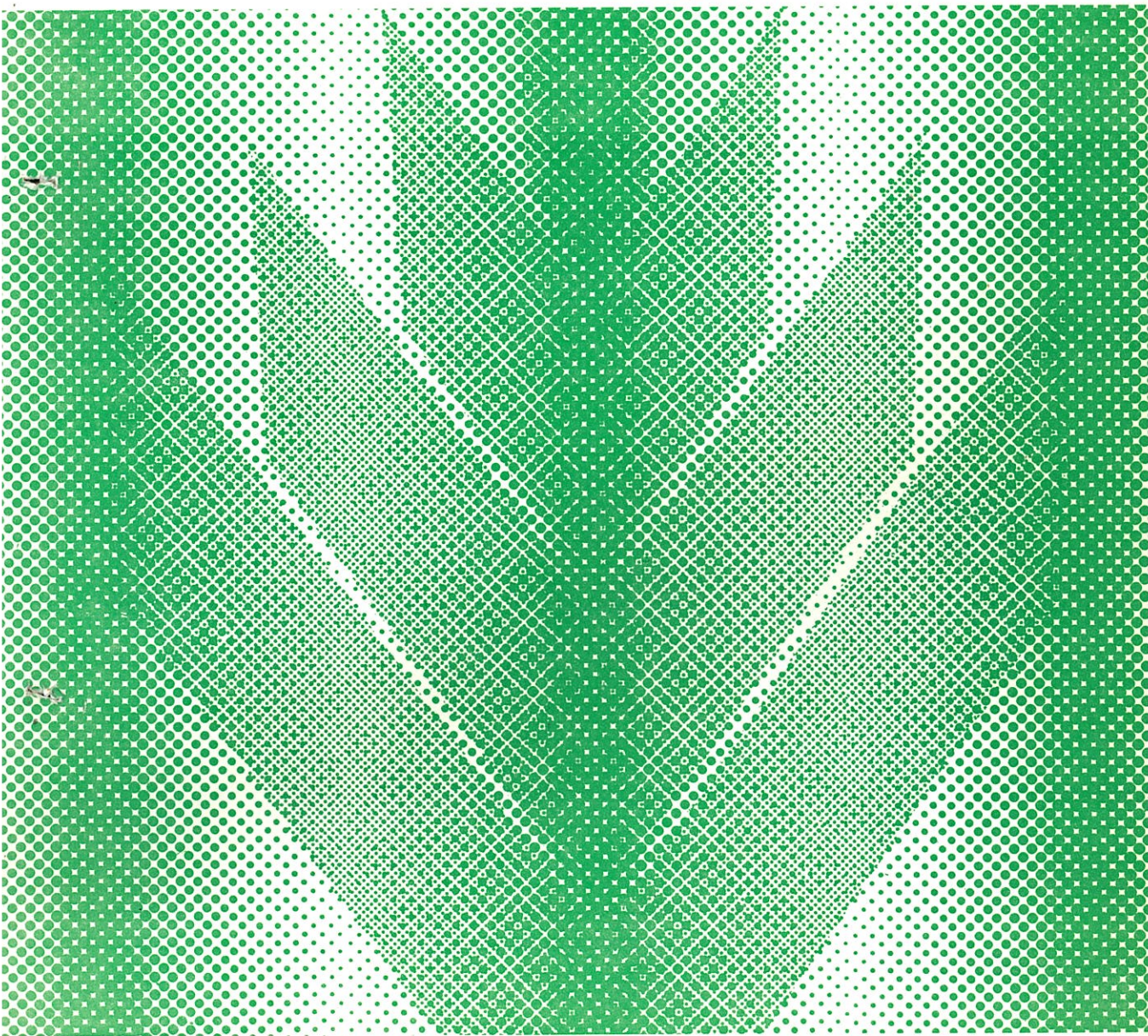


植調

第7卷第11号



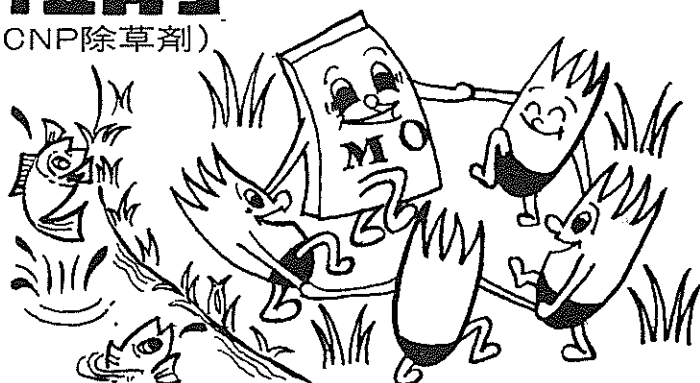
財団法人 日本植物調節剤研究協会編

安全でよく効く!

——水田除草剤——

MO粒剤

(CNP除草剤)



MO普及会

取扱会社 クミアイ化学、三共、北興化学、八洲化学、日本農薬、サンケイ化学
事務局 東京都千代田区霞が関3-2-5(霞が関ビル)三井東圧化学株式会社内

効きめのながい
エックスゴーニ粒剤

エックスゴーニ粒剤は、皆様のご期待にお応えできる除草剤です。

エックスゴーニ協議会

 日本農薬株式会社
〒103 東京都中央区日本橋通1-2-5
 石原産業株式会社
〒550-91 大阪府西区住吉1-11-11

- ◎殺草力が強く、そのうえ抑草期間が長いので普通移植栽培はもちろんのこと、稚苗移植栽培にも最適です。
- ◎処理適期の幅が広く、ノビエ・カヤツリグサ・一年生の広葉雑草からマツバイまで高い効果を発揮します。
- ◎人畜・魚貝類に対する毒性も低く、稲におよぼす影響もほとんどないので安心して使えます。



新しい水田除草剤
田植の前後に

労力の実体を

大手のある農機具メーカーの話では、高性能の機械は売れるけれども、より多く売れるのはむしろ単純な低性能のものだという。例えば、バインダーにしても1条刈りのものの方がよく売れるというのである。これは一見奇異に思えるが、その農機具を使う人が老人や婦女子に多いことを考えると何ら不思議はない。日本農業の現状を端的に示すものである。専業農家は、高性能の機械を望むのは確かであるが、性能は劣っても取り扱いの簡単な方を希望する兼業農家のむしろ多いことを考慮しないと、技術の普及は思うに任せない。

昭和初期の試験場は、栽培条件の相対性なる思想に風びされ、播種期・播種量・移植期・施肥量・栽植密度などの主要栽培条件は固定的あるいは絶対的ではなく、移植期がおそければ施肥量を減じ、栽植密度を増すことで収量低減を食い止め得るものとして、その定量的実証試験に没頭したものである。この種の試験に従事する過程で、「ものに優劣なく、たゞ適否あるのみ」の寺尾博士の名言は、体験を通して技術者の骨髓に沁み、生態学的観察力は農学において著しく前進した。

たゞ惜しむらくて、この生態学的訓練には人的要素を欠いていた。農村労力の過剰であった当時としては、支障がなかったのであるが、今日の農村における労力の不足、量的・質的変異の大きい現実にあつては、人的要素を重要視しないと思ふぬ見込み違いをもたらす。

(戸 蒔 義 次)

目 次

(第7巻第11号)

昭和48年度夏作芝生関係除草剤 試験成績概要

昭和48年度夏作芝生関係除草

剤試験成績判定表…………… 2

千葉大学園芸学部教授

大 泉 久 一

昭和48年度水稻作関係除草剤試 験成績概要

1. 供試除草剤の動向…………… 9

2. 試験結果の概要…………… 10

<第1表> 昭和48年度水稻

作関係供試除草剤成分一覧表………… 10

<第2表> 昭和48年度水稻

作関係除草剤実用化判定表………… 29

<第3表> 昭和48年度水稻

作関係実用化除草剤使用基準

一覧表…………… 34

(財)日本植物調節剤研究協会

昭和48年度畑作関係除草剤試験 成績概要

<第1表> 畑作用除草剤試験

の推移…………… 48

<第2表> 昭和48年度畑作関係

作用性試験供試除草剤成分一覧表………… 49

<第3表> 昭和48年度畑作関係

適用性試験供試除草剤成分一覧表………… 52

<第4表> 昭和48年度畑作関係

除草剤実用化判定表…………… 56

<第5表> 昭和48年度畑作関係

実用化除草剤使用基準…………… 58

(財)日本植物調節剤研究協会

昭和48年度夏作芝生関係 除草剤試験成績概要

千葉大学園芸学部教授 大 泉 久 一

昭和48年度春夏作芝生関係除草剤の試験成績である。
 績検討会は、昭和48年11月27日(火曜日)、今回は、除草剤23薬剤(101点)、について、
 東京農林年金会館において、各試験担当者、専門調査委員、委託会社担当者等多数参集のもと、全国18場所で行なわれた試験の結果が報告、検討、審査された。昨年度に比べ、薬剤数
 に開催された。検討の結果は次表に示すとおりおよび試験点数いずれも約3倍に増大した。

昭和48年度春夏作芝生関係除草剤試験成績判定表

No	薬 剤 名 (種類名・商品名)	対 象 芝	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者	判 定	判定理由または内容
1	24-D・ G-315 (24-PA・オキサ ジアゾン プラスコンR)	コウライ芝 又はヒメコ ウライ芝	水 和	24-D: 24-ジクロ ルフエノキシ酢酸(一ナ トリウム) 50% G-315: 5-ターシ ヤリ-ブチル-3-(2 4-ジクロル-5-イソ プロポキシフェニル)- 1,3,4-オキサジアゾリ ン-2-オン 10%	日産化学工 業	実・継	実: 雑草発生前~始期 50~100g/a 全面土壌処理 継: 効果の確認, とくに多 年生広葉, 処理時期と の関係
2	A-820 (トルイジン系) (A-820)	コウライ芝 ヒメコウラ イ芝	乳	N-セカンダリーブチル -4-ターシヤリ-ブチ ル-2,6-ジニトロアニ リン 48%	2,4-D協議 日産化学工 業 石原産業	実・継	実: イネ科雑草発生前~始 期50~100cc/a 全面土壌処理 継: 広葉に対する効果の向 上, 散布時の着色, 処 理時期
3	CAT (CAT シマジン 500FW)	日 本 芝 ノ シ バ	フロア ーブル	2-クロル-4,6-ビス -エチルアミノ-S-ト リアジン 50%(W/Y)	日本チバガ イギー	実・継	実: 雑草発生前 20~30g/a 全面土壌散布, 平坦地 継: 特に傾斜地での検討
4	diphenamid (ジフェナミド ダイミッド)	コウライ芝 ノ シ バ ダイコンドラ	水 和	N, N-ジメチル-2,2 -ジフェニルアセトアミ ド	塩野義製薬	継	効果小で, 処理時期, 処理 量の再検討

№	薬 剤 名 (種類名・商品名)	対 象 芝	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者	判 定	判定理由または内容
5	DSMA [DSMA ネオデウイード]	コウライ芝 ノシバ, テ イフン芝	水 溶	メチルアルソン酸ジナ リウム 63% (デインデュームメチ ルソネート)	東洋グリー ン	実・継	実: イネ科, 特にメヒシバ 発生初期, メヒシバ5 ~6葉期, 50~100 g/a, 雑草処理 継: 効果の再確認, 薬害の 軽減
6	MCP P [MCP P キルウイード]	日本芝(コ ウライ, ノ シバ) 西洋芝(ケ ンタッキー ブルーグラ ス)	液	2-(2'-メチル-4'- クロルフエノキシ)プロ ブオン酸 50%	東洋グリー ン	実・継	実: 広葉, 生育期 60~80g/a 雑草処理 継: 温度との関係, 散布時 期, 処理濃度について 検討
7	MK-616 [酸イミド系 (MK-616)]	コウライ芝	(微)粒	N-パラ-クロロフエニ ル-2-テトラヒドロフ タルイミド 5%	三菱化成工 業	実・継	実: イネ科雑草発生前~始 期, 500~800g /a 全面土壌処理 継: その他雑草への効果確 認
8	MT-109 [ジフエニルエー テル系 (MT-109)]	日 本 芝 ノ シ バ	水 和	(未 公 開) 50%	三井東圧化 学	継	効果確認とくに薬量, 薬害 について
9	NC-75 [DCMU・MH] 混合剤 (NC-75)]	芝 一 般	水 和	DCMU: 3-(3,4- ジクロルフエニル)-1, 1-ジメチル尿素 MH: マレイン酸ヒドラ ジド 60%	日本カーバ イト工業	継	効果の再確認, とくに薬量 増大, 混剤について生育抑 制についても効果確認の必 要あり
10	NC-U [尿 素 系 (NC-U)]	日 本 芝 ノ シ バ	水 和	新規化合物 90%	日本カーバ イト工業	継	効果の確認
11	NHKS [ダイアジン系 (NHKS)]	芝 一 般	粉	3,5-ジメチル-テトラ ヒドロ-1,3,5-2H- チアジジン-2-チオ ン 95%以上	三菱瓦斯化 学	実	目土処理剤として 100~150g/m ² 土壌混合, ビニール被覆処 理

No	薬 剤 名 (種類名・商品名)	対 象 芝	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者	判 定	判定理由または内容
12	NHS — (NHS)	コウライ芝 ヒメコウ ライ芝	水 和	(未 公 開) 50%	三洋貿易	継	効果の確認, 薬量増加
13	NP-24 — (NP-24)	コウライ芝	水 和	新規化合物 40%	日本曹達	継	効果の確認, 薬量増加
14	NTN-80	コウライ芝 (ベントグ ラス)	乳	新規化合物 30%	日本特殊農 薬製造	実・継	実: イネ科雑草発生前〜始 期, 120~200g /a, 全面土壌処理 継: 広葉効果確認
15	SA-4114 [SAP・ プロメトリン エス乳剤]	日 本 芝	乳	SAP: 0.0-ジイソ プロビル-2-(ベンゼン スルホンアミド)エチ ルジチオホスフェート 50% プロメトリン: 2-メチ ルチオ-4,6-ビス(イ ソプロビルアミノ)-S ートリアジン 5%	日本農薬	実・継	実: イネ科雑草発生前〜始 期, 100~200g /a 全面土壌処理 継: 広葉効果確認, 薬害,
16	SAP [SAP ロンパー]	日本芝, 西 洋芝	粒	N-(2-メチルカプト エチルベンゼンスルホン アミド)-S-(0.0-ジ イソプロビルホスホロジ チオエート) 12.5%	東洋グリー ン	実・継	実: イネ科雑草発生前 800~1000g/ a 全面土壌処理 継: 効果確認, 増量剤など 散布方法について
17	SK-41 尿素系 (SK-41)	日本芝, ノ シバ	粘稠液	1-(d,d-ジメチルベ ンジル)-3-メチル- 3-フェニル尿素 50%	昭和電工	実・継	実: カヤツリグサ科雑草発 芽前〜始期, 200~ 400g/a, 全面土 壌処理 継: 効果確認, 対象草種拡 大
18	SSH-39 — (SSH-39)	コウライ芝 ノ ジ バ	水 和	(未 公 開)	塩野義製薬	継	効果向上, 薬量増加
19	TG-72	西洋芝(除 ベント)	液	2,4-D; 2,4-ジクロ ルフェキシ酢酸(一ナト)	東洋グリー ン	実・継	実: 1年生広葉雑草発生前始 期, 60~80g/a

№	薬 剤 名 (種類名・商品名)	対 象 芝	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者	判 定	判定理由または内容
19	つづき 〔2,4 P A・MCP P・MDBA (TG-72)〕			リウム) 2725% MCPP: 2-(2'-メ チル-4'-クロロフェノ キシ)プロピオン酸 1386% MDBA: 3,6-ジクロ ロ-2-メトキシ安息香 酸 276%			全面雑草茎葉処理 継: 効果確認, とくに多年 生広葉雑草 薬害とくに生育時期と の関係
20	TOC-605 〔NIP・TOPE —〕	日本芝, ノ シバ	乳	NIP: 2,4-ジクロロ フェニル-4-ニトロフ エニルエーテル 15% TOPE: 3-メチル- 4'-ニトロジフェニルエ ーテル 15%	東京有機化 学工業	実・継	実: イネ科雑草発生始期, 100~150cc/a 生育盛期(2~3L期) 150~200cc/a 全面雑草茎葉処理 継: 効果確認とくに草種, 薬量
21	TREX-SAN 〔2,4 P A・MCP P・MDBA トレクサン〕	日 本 芝	液	2,4-D: 2,4-ジクロ ロフェノキシ酢酸(アミ ン) 3207% MCPP: 2-(2'-メ チル-4'-クロロフェノ キシ)プロピオン酸 1612% MDBA: 3,6-ジクロ ロ-2-メトキシ安息香 酸 276%	マリンクロ ット・ファ ーイースト	実・継	実: 広葉雑草発生始期 30~50cc/a 盛期40~50cc/a 雑草茎葉全面処理 継: 多年生広葉への効果確 認, 薬害の軽減
22	TS-1 〔DSMA・MCPP (SK-41)〕	日本芝, ノ シバ	水 和	DSMA: メチルアルソ ン酸ジナトリウム塩 18% MCPP: 2-(2'-メ チル-4'-クロロフェノ キシ)プロピオン酸(カ リウム塩) 9% (SK-41): 1-(α,α-ジメチルベンジル) -3-メチル-3-フェ ニル尿素 36%	トーメン 昭和電工	実・継	実: カヤツリグサ科雑草発 生始期~4~5L期 200~280g/a 雑草茎葉処理 継: 効果確認とくに薬量と 薬害について
23	PO-SAN	日 本 芝	液	A液: モルファクチン 125%	マリンクロ ット・ファ	実・継	実: スズメノカタビラ出穂 抑制, 出穂前茎葉処理

No	薬 剤 名 (種類名・商品名)	対 象 芝	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者	判 定	判定理由または内容
23	つづき 〔生育抑制剤 ボーサン〕			メチル-2-クロロ 9-ヒドロキシフロ レン-9-カルボキシ レート 85% メチル-9-ヒドロキ シフロレン-9-カ ルボキシレート 23% メチル-2,7-ジクロ ロ-9-ヒドロキシフ ロレン-9-カルボ キシレート 17% B液: 6-ヒドロキシ- 3-(2M)-ピリダ シノン-ジエチルアミ ン塩 220%	ーイースト		200CC/a 継: 散布時期

* …… 有効成分の公開が必要である。

新規のもので実・継となったものは次年度確認試験を必要とする。(番号 3, 4, 7, 14, 15, 16, 17, 19, 20, 22)

次に各薬剤の試験結果の概要を述べる。

に充分に観察する必要がある。

(1) 2,4-D・G-315水和剤

千葉農試, 東京農試, 大相模カントリークラブ(C.C.)ではコウライシバを対象に柏ゴルフクラブ(G.C.)ではノシバを対象に試験が実施された。

千葉農試ではイネ科, 広葉雑草ともに雑草発生前~始期50~100g処理で殺草効果大で, 東京農試, 柏G.C.ではイネ科雑草に対する効果が広葉雑草に比べてやや劣るとしている。大相模C.C.ではイネ科雑草に効果大で, 広葉雑草にはやや劣るとしている。この差異はヤハズソウ, クローバーなど発生草種の差によるものと思われる。

芝生に対する薬害の発生はみられないが, 秋季の生育停止期使用で黄褐色の薬害の発生がみられているので, 次年度処理時期の検討のさい

(2) A-820乳剤

東京農試, 静岡農試, 大相模C.C.スリーハンドレッドCの各試験場所ともほぼ同様の傾向の結果を示し, 表に示したような判定が得られた。問題点としては, 広葉雑草に対する効果の向上と散布時の黄色染色であるが, 後者はその解決は困難と思われる。

(3) CATフロアブル

千葉農試, 静岡農試, 総成C.C.植調研で試験が行なわれ, CAT水和剤に比べて効果は優るとも劣らない結果を示した。薬害はコウライ, ヒメコウライ芝ともに認められない。

傾斜地などでの処理濃度と芝生薬害の関係の検討が望まれる。

(4) diphenamid 水和剤

程ヶ谷C.C.の結果ではメヒシバ、コニシキソウに対してかなりの効果がみられたが、なお薬量などに対する検討を必要とするとし、新沼津C.C.もほぼ同様な傾向を示した。総成C.C.、日本緑営研はその効果少なとし、これに対して西日本グリーン研ではメヒシバ、スベリヒユ、イヌタデ、オオアレチノギク、コニシキソウを著しく抑制するとしている。この場所間の効果の差異は、処理後の温度の高低に起因するところが大きいように思われ、処理時期、処理量などの再検討が必要である。

(5) DSMA 水溶剤

程ヶ谷C.C.、新沼津C.C.、相模原G.C.、の各試験場所ともにメヒシバに対する効果が著しかった。今後その他の草種への効果確認と薬害の軽減が問題である。

(6) MCPP 液剤

静岡農試、大相模C.C.、柏G.C.で試験が実施された。広葉雑草に対する効果は大で、濃度大であるほど殺草効果大である。今後処理回数、時期などの検討が必要である。芝生に対する薬害については、供試芝のノシバの場合発生した場所と、発生しない場所があったが、発生した場合も比較的軽度であった。ケンタッキーブルーグラスの場合にも、余り発生せず、とくに造成後2、3年を経過し、肥培の適当なものでは薬害の発生は皆無であるという。

(7) MK-616 微粒剤

イネ科雑草に対する効果大であり、また芝生もコウライ、ヒメコウライともに薬害は認められないが、試験場所数は千葉農試、中津川C.C.

の2ヶ所と少なく、また新規であるので更に検討を必要とする。なお、温度、日照との関係については注意して検討する必要がある。

(8) MT-109 水和剤

相模原C.C.の結果では雑草発生始期の散布でメヒシバへの効果少なく、ミミナグサとツルボに特異的な効果が認められ、植調研の結果では薬量増大によって殺草効果大であった。また芝生への薬害は、両場所とも認められない。なお検討を必要とする。

(9) NC-75 水和剤

程ヶ谷C.C.での雑草発生前の処理ではイネ科雑草に対してやや効果がみられ、芝生に対しては、コウライでは薬害がみられず、ベントに対しては40日後において葉先の黄化が認められた。発生盛期の処理では、効果は少ない。植調協の試験では効果大であったが、処理時期の温度の差異と、試験がベントで行なわれたことが影響しているものと思われ、薬害の発生も大であった。なお今後の検討を必要とする。

(10) NC-U 水和剤

種々の他除草剤との混用が試験され、千葉農試ではCAT(シマジン)およびレナシル(レンザー)と、程ヶ谷C.C.ではSAP(ロンパー)、シデュロン(チュバサン)、MBPMC・MCP(エーザック)、柏G.C.ではCAT、シデュロンとの混用に効果が認められたが、なお今後の検討が必要である。

(11) NHKS 粉剤

目土処理剤として、判定表のように処理することによって、殺草効果が著しく大であること

が程ヶ谷C.C., 新沼津C.C., 植調研の試験で明らかとなった。芝生に対する影響も認められない。比較薬剤メチルプロマイドに比べ処理労力、処理日数を多く要する点が今後の残された問題点であろう。

(12) NHS 水和剤

錦ヶ原C.C., 小金井C.C., の結果では、ハマスグ、ヒメクグ対象の薬剤であるが、ハマスグに対する効果なく、ヒメクグにやや効果がみられた。今後、薬量などについての検討が必要である。

(13) NP-24 水和剤

大相模C.C.ではメヒシバに対して2~5葉期の茎葉処理50~100g/aで効果を認め、スリーハンドレッドC.および相模原G.C.では同じくイネ科に対して効果大で、広葉ではやや劣るとしている。西日本グリーン研では播種したメヒシバの発芽抑制、生育抑制の著しいことを認め、その効果が9.0日間程度持続するとしている。広葉雑草に対しては効果が少ないとしている。芝生に薬害の発生が認められ、とくに50~100g/aでやや長期間黄変をもたらした。今後効果の再確認、とくに広葉に対する薬量増加、芝生の薬害軽減などについての検討が必要である。

(14) NTN-80 乳剤

千葉、東京農試、程ヶ谷C.C., 柏G.C., 西日本グリーン研の各場所とも、ほぼ同一の結果を示し、表に述べたようにイネ科雑草に著しい効果を示した。広葉に対しては今後の検討を必要とする。芝生に対する影響は認められない。

(15) SA-4114 乳剤

イネ科雑草に対して著しい効果が、千葉、静岡農試、大相模C.C.の各場所で認められ、広葉に対しては劣り、今後の検討が必要である。芝生に対しては薬害は認められない。

(16) SAP 粒剤

程ヶ谷C.C., 日本緑管研、柏G.C.の各場所ともメヒシバの除草効果極めて大きいことを認め、芝生に対する影響は認められない。今後散布方法とくに均一散布についての検討が大切である。

(17) SK-41 液剤

キャツリグサ科のハマスグ、ヒメクグに対して著しい効果が、錦ヶ原C.C., 柏G.C., 浜松シサイドG.C., 西日本グリーン研の各場所で認められ、一方芝生への影響はほとんど認められない。メヒシバに対しても効果がみられるので、今後さらに殺草草種の確認が必要である。残効については120日間との報告があるが、なお検討を要する。

(18) SSH-39 水和剤

キャツリグサ科、イネ科雑草対象の薬剤であるが、錦ヶ原C.C., 小金井C.C.の試験では、ほとんど効果が認められない。中津川C.C.では、キャツリグサ科雑草の発生なく効果不明であるが、イネ科や広葉雑草に僅かながら効果が認められている。今後薬量増加などで再検討を必要とする。

(19) TG-72 液剤

東京農試、スリーハンドレッドC., 新沼津C.C., 総成C.C., 那須G.C.の各場所ともほぼ共通した結果がえられ、広葉雑草に対して顕著な効

果がみとめられた。とくにヒルガオ、チドメグサに効果大である。芝生の薬害は葉先枯れや生育抑制が僅かに認められるが、その回復は早い。今後更に効果の確認と多年生雑草に対する効果を明らかにする必要がある。

㉔ TOC-605 乳剤

東京農試の成績では、雑草発生始期の処理では、広葉、イネ科ともに枯殺、抑草力がみられ、とくにイネ科に対して大であり、生育盛期の処理では、1年生広葉雑草に有効であり、イネ科雑草には再生する可能性が認められた。程ヶ谷C.C.の結果では、発生始期処理で、メヒシバに若干効果が認められるが、広葉雑草にはほとんど効果が認められないとし、発生盛期処理でメヒシバにやや効果があり、またカツリグサおよびカタバミに対して効果大であった。大相模C.C.の結果では、発生始期処理で、メヒシバに対して効果著しく大で、発生盛期処理でもメヒシバに対する効果が著しく大であり、アカザ、ツユクサの抑制力も認められた。日本緑営研の成績ではメヒシバの茎葉処理剤として期待できるが、やや残効期間が短いとしている。今後更に効果の確認など検討を進めることが必要である。

㉕ TREX-SAN 液剤

広葉雑草に対する効果が、東京農試、関西ゴルフ連盟グリーン研、西日本グリーン研の三場所ともに著しいことが認められ、多年生広葉雑草に対しても効果がみられるが、なお検討を要する。芝生の薬害を認めた場所もあり、その軽減が望まれる。

㉖ TS-1 水和剤

カツリグサ科雑草ハマスゲ、ヒメクグに対して顕著な効果が、大相模C.C.、柏G.C.、錦ヶ原C.C.、浜松シーサイドG.C.、西日本グリーン研、千葉大、植調研、の各試験に認められ、広葉雑草に対しても効果がある。芝生の薬害としては葉先枯れの発生がみられ、約2週間で回復した。なお今後検討を重ねることが大切である。

㉗ PO-SAN 液剤

スズメノカタビラの出穂抑制剤としての効果が、日本緑営研、那須G.C.、関西ゴルフ連盟グリーン研の結果で明らかとなり、また処理個体からの種子が不稔のものであることが証明されたことは甚だ興味ある点である。芝生の薬害は、ほとんど問題にならないものと思われる。更に処理時期などについて検討を進めることが大切である。

昭和48年度水稻作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和48年度水稻作関係除草剤の試験成績中央検討会は、昭和48年12月1

3日より15日の3日間、東京(農林年金会館)において開催されたので、ここにその結果を紹

介する。

通りである。

1. 供試除草剤の動向

昭和48年度に供試された除草剤は、栽培法別に示すと、次の通りである。移植本田用として71薬剤、稚苗移植栽培用61薬剤、湛水直播栽培用として4薬剤、乾田直播栽培用4薬剤、畦畔用2薬剤、休耕田用3薬剤、耕起前用として1薬剤、合計146薬剤で、前年度供試薬剤数144薬剤より2薬剤多く供試された。

前年度より問題とされた多年生雑草にも効果のある一年生・多年生同時防除剤については、前年度結果の確認と更に検討が行なわれ、本年度新たにMCC・M・BAS、モリネート・K・BAS、モリネート・M・BAS、B-3015・K・BASなどBAS混合剤、MT-B-3015、B-3015・S・MCPB、TH63・MCPBなど、適用性が検討された。なお、本年度供試除草剤の成分一覧は第1表の

2. 試験結果の概要

本年度供試薬剤のなかで、実用化に移されたものは、移植本田用61薬剤、稚苗移植用49薬剤、湛水直播栽培用4薬剤、乾田直播栽培用2薬剤、畦畔用2薬剤、休耕田用2薬剤、耕起前1薬剤の合計121薬剤で、供試薬剤中83%が実用化の判定を得た。このように、多くの薬剤が実用化されたことは、作用性試験、第一次適用性試験、第二次適用性試験のつなかりと充実によるものと思われる。

適用性試験の判定の結果は、第2表の通りである。

また、実用化の認められた除草剤の使用基準は、第3表の通りである。

また、作用特性試験、第1次適用性試験、変動要因試験および散布能率研究会にも、別記の薬剤が供試された。

＜第1表＞ 昭和48年度水稻作関係供試除草剤成分一覧表

I 移植栽培本田

I-1(1) 土壌湿処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	NK-049	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェニノン 10%	日 本 化 薬
2	NK-049・S	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェニノン(NK-049) 8% N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミド-S-(40-ジイソプロピルホスホロジチオエート) (SAP) 3%	同 上
3	G-315	乳	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン 12%	ロンスター普及会 〔日産化学〕 〔北興化学〕

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
4.	改良G-315	乳	同 上 10%	同 上
5.	G-315・B	乳	5-ターシヤリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン(G-315) 8% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド(ブタクロール) 12%	同 上
6	X-52・KUE (旧XK-724)	粒	2,4-ジクロルフエニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフエニルエーテル(X-52) 6% N-(3-クロル-4-ジフルオロクロメチルメルカプトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア(KUE-2079A) 2%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
7	NTN・72K	乳	未公開(NTN-72)KUE-2079A 40%	日本特殊農薬

I-(2) 移植前土壌処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	MS-8	粒	N-P-クロロベンジルオキシフェニル-β-テトラヒドロフタルイミド(MK-129) 6% 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)ウレア(SK-23) 70%	昭和電工 三菱化成
2	MTS-1	粒	2,4,6-トリクロルフエニル-4'-ニトロフエニルエーテル(CNP) 9% 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)ウレア(SK-23) 7%	三井東圧化学 昭和電工
3	SST-5	粒	2,4-ジクロルフエニル-4'-ニトロフエニルエーテル(NIP) 7% 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)ウレア(SK-23) 5%	三洋貿易 昭和電工 東京有機化学
4.	KUE-2079A	粒	N-(3-クロル-4-ジフルオロクロメチルチオフェニル)-N,N'-ジメチルウレア 4%	日本特殊農薬
5.	NK-049・S	粒	3,3-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン(NK-049) 8% N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミド-S-(0,0-ジイソプロピルホスホロジチオエート)(SAP) 3%	日本化薬

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
6	ブタクロール 2.5	粒	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) -アセトアニリド 2.5%	三菱モンサント
7	ブタクロール 5.0	粒	同 上 5%	同 上
8	X-52・B	粒	2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 5% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) -アセトアニリド (ブタクロール) 3%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
9	X-52・KUE (旧XK-724)	粒	2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 6% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロロメチルメルカ プトフェニル)-N',N'-ジメチルウレア (KUE-207 9A) 2%	同 上
10	X-52・BAS	粒	2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 7% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン-(4) -2,2-ジオキシド (BAS-3510) 10%	同 上
11	SK-23	粒	1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリ ル)ウレア (SK-23) 6%	昭和電工
12	モリネート・K	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カー ボチオエート (モリネート) 6% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロロメチルメルカ プトフェニル)-N',N'-ジメチルウレア (KUE-2 079) 2.5%	モリネート普及会 日本特殊農薬
13	MC-61	粒	ジフェニルエーテル系新規化合物 7%	北興化学
14	MC-79	粒	ジフェニルエーテル系新規化合物 7%	モーダウン研究会 〔北興化学〕 〔モービル石油〕 〔八洲化学〕

Ⅰ-(3) 移植後土壌処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	X-52・B	粒	2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 5%	X-52協議会

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.			2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) -アセトアニリド(ブタクロール) 3%	〔石原産業〕 〔日本農薬〕
2.	X-52・AM (旧XK-721)	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル(X-52) 7% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-アリルエステ ル(AM) 0.7%	同 上
3.	S K P	粒	1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリ ル)ウレア(SK-23) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビス-イソプロピルアミノ-S トチアジン(プロメトリン) 1.2%	昭 和 電 工 日 本 化 薬
4.	U-67	粒	3,4,5-トリブロム-N,N, α -トリメチルピラゾール- 1-アセトアミド 3%	日本アツプジョン
5.	KW-10	粒	2,4-ジクロル-4-ニトロジフェニルエーテル 3% 未 公 開(フラン系) 4.5%	大日本除虫菊
6.	プロメトリン・MC PB	粒	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S- トリアジン(プロメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 1%	日 本 化 薬
7.	MT-B-3015	粒	α -(β -ナフトキシ)プロピオンアニリド(MT-1 01) 7% S-(4-クロロベンジル)N,N-ジエチルチオールカ -バメイト(B-3015) 7%	三井東圧化学 クミアイ化学
8.	P M X	粒	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S- トリアジン(プロメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 1.0% 未 公 開 7%	日 本 化 薬
9.	ブタクロール 5%	粒	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド(ブタクロール) 5%	〔ブタール普及会〕 日本モンサント

I-(4) 茎葉兼土壌処理

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	X-52・モリネー トAM	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル(X-52) 6%	X-52協議会

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1			S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート (モリネート) 8% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-アリルエステル (AM) 0.7%	〔石原産業〕 〔日本農薬〕
2	CH-721S	粒	2-(α -ナフトキシ)-N,N-ジエチルプロピオンアミド (CH-721) 2% 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-S-トリアジン (シメトリン) 1.5%	R-7465 〔ト-メン〕 〔中外製薬〕 〔日本農薬〕
3	TH-62DM-1	粒	2-(2-クロロベンジルチオ)-5-プロピル-1,3,4-オキサジアゾール (ベノキサゾール) 7% 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-S-トリアジン (シメトリン) 2% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 1%	武田薬品
4	KH-183 (旧-KH-183A)	粒	2-アミノ-3-クロロ-1,4-ナフトキノン (ACN) 4.5% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド (ブタクロール) 2.5%	兼商 嘸
5	モリネート S	粒	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート (モリネート) 6% 2-メチルチオ-4,6-ビス (エチルアミノ) -S-トリアジン (シメトリン) 1.5%	ト-メン スタウファー・ケミカル
6	モリネート SM	粒	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピオン-1-カーボチオエート (モリネート) 8% 2-メチルチオ-4,6-ビス (エチルアミノ) -S-トリアジン (シメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.8%	モリネート普及会 〔八洲化学〕 〔三笠化学〕 スタウファー・ケミカル 〔ト-メン〕
7	CG-102 5.5	粒	S-(2-メチル-1,1-ビペリジル-カルボニルメチル)-0-ジ-n-プロピルジチオホスフェート (ビペロホス) 4.4% 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1',2'-ジメチルプロピルアミノ)-S-トリアジン (キントメトリン) 1.1%	日本チバガイキー
8	X-52・AM・BAS	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル (X-52) 7%	X-52協議会

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
8	(旧XK-722)	粒	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-アリルエステル (AM) 0.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4), 2,2-ジオキシド (BAS-3510) 5%	石原産業 日本農薬
9	CG-102 65	粒	S-(2-メチル-1,1-ビペリジルカルボニルメチル)-0,0-ジ-n-プロピルジチオフオスフェート (ビペロホス) 5.5% 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2'-ジメチル-プロピルアミノ)-S-トリアジン (キントメトリン) 1.1%	日本チバガイキ
10	S-28・AM	粒	O-エチル-O-(3-メチル-6-ニトロフェニル)-N-セカンダリ-ブチルホスホロチオアミデート (S-28) 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-アリルエステル (AM)	住友化学 石原産業
11	S-28・S	粒	O-エチル-O-(3-メチル-6-ニトロフェニル)-N-セカンダリ-ブチルホスホロチオアミデート (S-28) 7% 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-S-トリアジン (シメトリン) 1.5%	住友化学
12	シメトリン・MCP B 35	粒	2-メチルチオ-4,6-ビス(エチルアミノ)-S-トリアジン (シメトリン) 2.5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 1%	日本化薬
13	シメトリン・MCP B 25	粒	同 上 (シメトリン) 1.5% (MCPB) 1%	同 上
14	BAS・HE-31 4	粒	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4)2,2-ジオキシド (BAS-3510) 10% 3-メチル-4'-ニトロジフェニルエーテル (HE-314) 1.2%	住友化学 東京有機化学
15	B-3015・BAS	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト (B-3015) 7% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4), 2,2-ジオキシド (BAS-3510) 10%	クミアイ化学

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
16	B-3015・SB AS	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカ ーバメイト(ベンチオカーブ) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S- トリアジン(シメトリン) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4)2 2-ジオキシド(BAS-3510) 7%	クミアイ化学
17	B-3015・K	粒	S-(4-クロルベンジン)N,N-ジエチルチオールカ ーバメイト(ベンチオカーブ) 7% N-(3-クロル-4-ジクロロクロルメチルメルカ プトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア(KUE-20 79A) 2.5%	同 上
18	TH-63	粒	N-(0,0-ジプロピル-ジチオホスホリルアセチル) -2-メチルビペリジン(CG-7102) 4.4% 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2-ジメ チル-アミノ)-S-トリアジン(CG-7103) 1.1% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	TH-63研究会 〔武田薬品〕 〔日本チバ ガイキー バーデイシエ〕
19	TH-64	粒	2-(2-クロルベンジル)-5-プロピル-1,3,4- オキサジアゾール(ベノキサゾール) 5% 2-メチルチオ-4,6-ビス(エチルアミノ)-S-トリアジ ン(シメトリン) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 7%	武田薬品.
20	NH-703	粒	S-(4-クロルベンジン)N,N-ジエチルチオールカ ーバメイト(ベンチオカーブ) 1.0% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル (MCPB) 0.7%	日本農薬 クミアイ化学
21	MCC・M・BAS	粒	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメイト (MCC) 2.0% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル (MCP) 0.7% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 5%	日産化学
22	S M X	粒	2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリア ジン(シメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル	日本化薬

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
22			(MCPB) 10% 未 公 開 70%	
23	HOK-7506	粒	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-S-エチル (フェノチオール) 15% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジノン-(4) -2,2-ジオキンド(BAS-3510) 10%	北 興 化 学
	B-3015S (新処法)	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N'-ジエチルチオールカ -バメイト(ベンチオカーブ) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリア ジン(シメトリン) 15%	ク ミ ア イ 化 学
24	B-3015・S・ MCPB	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N'-ジエチルチオールカ -バメイト(ベンチオカーブ) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリア ジン(シメトリン) 15% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル 1%	ク ミ ア イ 化 学
25	B-3015・K・ BAS	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N'-ジエチルチオールカ -バメイト(ベンチオカーブ) 7% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカ プトリフェニル-N,N'-ジメチルウレア(KUE-20 79A) 25% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジノン-(4)-2,2 -ジオキンド(BAS-3510) 10%	ク ミ ア イ 化 学
26	TH-63・MCP B	粒	N-(4,0-ジプロピル-ジチオホスホリアセチル)- 2-メチルピペリジン(CG-7102) 5.5% 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2-ジメ チル-アミノ)-S-トリアジン(CG-7103) 5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 10%	武 田 薬 品

I-(5) 適用拡大

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	CG-102 (5.5)	粒	N-(4,0-ジプロピル-ジチオホスホリアセチル)- 2-メチルピペリジン(CG-7102) 4.4% α -メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2-ジメ チル-アミノ)-S-トリアジン (CG-7103) 1.1%	日 本 チ バ ガ イ キ ー

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
2	NK-049S	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン 8% N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミド -S-(0,0-ジイソプロピルホスホロジチオエート 3%)	日 本 化 薬
3	NIP・Q	粒	2,4-ジクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル (NIP) 6% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸(ナトリウム) (MCP) 0.4%	東京有機化学
4	KH-159	粒	2-アミノ-3-クロルナフトキノン(ACN) 5% 2,4-ジクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル (NIP) 5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.6%	兼 商 三 洋 貿 易
5	KH-183	粒	2-アミノ-3-クロルナフトキノン(ACN) 4.5% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) -アセトアニリド(ブタクロール) 2.5%	兼 商
6	HOK-7506	粒	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-S-エチル (フェノチオール) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	北 興 化 学
7	HOK-7505	粒	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-S-エチル (フェノチオール) 0.7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリア ジン(シメトリン) 1.5%, 2.5%	同 上
8	G-315→ MCC・MCP 20	粒	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イ ソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾ リン-2-オン(G-315) 1.2% メチルN-(3,4-ジクロロフェニル)-カーバメイト (MCC) 1.0% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCP) 0.7%	ロンスター普及会 〔日産化学〕 北興化学
9	X-52・AM (旧XK-721)	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル(X-52) 7% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エステル (AM) 0.7%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
10	MCP・BAS	水 和	2-メチルクロロフェノキシ酢酸(エチルエステル) 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 3.0%	日 産 化 学 石 原 産 業
11	MCP・BAS	粒	2-メチルクロロフェノキシ酢酸(エチルエステル) (MCP) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	同 上
12	2,4PA・BAS	水 和	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 3.0%	石 原 産 業 日 産 化 学
13	2,4PA・BAS	粒	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	同 上
14	BAS-3510	粒	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	住 友 化 学
15	G-315→ シメトリン粒	粒→乳	5-ターシヤリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イ ソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾ リン-2-オン 1.2% 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S- トリアジン 2.5%	北 興 化 学 日本チバガイギー

Ⅱ 稚苗移植栽培

Ⅱ-(1) 土壌混和处理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	NK-049	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン(メトキ フェノン) 1.0%	日 本 化 薬
2	NK-049S	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン(NK-0 49) 8% N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミド -S-(4,0-ジイソプロピルホスホロジチオエート) (SAP) 3%	同 上
3	G-315・B	乳	5-ターシヤリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イ ソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリ	日 産 化 学

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
3			ン-2-オン (G-315) 8% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド (ブタクロール) 12% (前年=10+15%)	
4	G-315	乳	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イ ソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリ ン-2-オン (オキサジアゾン) 12%	ロンスター普及会 [日 産 化 学] [北 興 化 学]
5	X-52・KUE (前年XK-72 4)	粒	2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル (X-52) 6% N-(3-クロル-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N',N'-ジメチルウレア (KUE-20 79A) 2%	X-52 協 議 会 [石 原 産 業] [日 本 農 薬]
6	B-3015	乳	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカ ーバメイト (B-3015) 50%	クミアイ化学
7	B-3015・K	乳	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカ ーバメイト (B-3015) 60% N-(3-クロル-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N',N'-ジメチルウレア (KUE-20 79A) 12%	同 上
8	NTN・72K SL-27	乳 乳	未公開 (NTN-72)・KUE-2079 40% 未 公 開 %	日本特殊農薬 石 原 産 業

Ⅱ-(2) 移植前後土壌処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	MS-8	粒	N-P-クロルベンジルオキシフェニル-△-テトラヒ ドロフタルイミド (MK-129) 6% 1-(α,α -ジメチルベンジル)-3-(パラトリル) ウレア (SK-23) 7%	昭和電工 三菱化成
2	MTS-1	粒	2,4,6-トリクロルフェニル-4'-ニトロフェニルエー テル (CNP) 9% 1-(α,α -ジメチルベンジル)-3-(パラトリル) ウレア (SK-23) 7%	昭和電工 三 井 東 圧
3	NTN-72K (25)	粒	未 公 開 (NTN-72) 7% (KUE-2079A) 25%	日本特殊農薬

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
4.	モリネート・K	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピオン-1-カルボチオエート(モリネート) 6% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロロメチルメルカプトフェニル)-N',N'-ジメチルウレア(KUE-2079A) 2.5%	モリネート普及会 〔八洲化学〕 〔日本特殊農薬〕
5.	X-52・KUE (前年XK-724)	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル(X-52) 6% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロロメチルカルボチオフェニル)-N',N'-ジメチルウレア(KUE) 2%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
6.	ブタクロール (25)	粒	2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド(ブタクロール) 2.5%	三菱モンサント
7.	KH-183 (旧KH-183A)	粒	2-アミノ-3-クロロナフトキノン(ACN) 4.5% 2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド(ブタクロール) 2.5%	兼 商
8.	SST-5	粒	2,4-ジクロロ-4'-ニトロジフェニルエーテル(NIP) 7% 1-(α,α -ジメチルベンジル)-3-(パラトリル)ウレア(SK-23) 5%	昭和電工 三洋貿易 東京有機化学
9.	MC-61	粒	ジフェニルエーテル系新規化合物 7%	北興化学
10.	MC-79	粒	ジフェニルエーテル系新規化合物 7%	モーダウン研究会 〔北興化学〕 〔モービル石油〕 〔八洲化学〕

Ⅱ-(3) 移植後土壌処理

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	X-52・B	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル(X-52) 5% 2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド(ブタクロール) 3%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
2.	X-52・AM (前年XK-721)	粒	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル(X-52) 7% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸アリルエステル(AM) 0.7%	同 上

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
3	MT・B-3015	粒	α -(β -ナフトキシ)プロピオンアニリド (MT-101) 7% S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオール- カーバメイト(ベンチオカーブ) 7%	三井東庄 クマイ化学
4	KH-183 (旧KH- 183A)	粒	2-アミノ-3-クロルナフトキノ(ACN) 4.5% 2-クロル 2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)ア- セトアニリド(ブタクロール) 2.5%	求 商
5	ブタクロール 5%	粒	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド(ブタクロール) 5%	ブタール普及会 日本モンサント

Ⅱ-(4) 茎葉兼土壌処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	X-52・AM・B AS (旧XK-722)	粒	2,4-ジクロルフエニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル(X-52) 7% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸-アリルエステ ル(AM) 0.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシンド(BAS-3510) 5%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
2	X-52・モリネー ト・AM	粒	2,4-ジクロルフエニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフ エニルエーテル(X-52) 6% S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピオン-1-カ- ーボチオエート(モリネート) 8% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸アリルエステル (AM) 0.7%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
3	モリネート・K・M	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピオン-1-カ- ーボチオエート(モリネート) 8% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロロメチルメルカ プトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア(KUE-20 79A) 2% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル (MOPB) 1%	モリネート普及会 〔八洲化学〕 〔日本特殊農薬〕
4	モリネート・SM	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピオン-1-カ- ーボチオエート(モリネート) 8% 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)S-ト リアジン(シメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.8%	モリネート普及会 〔八洲化学〕 〔三笠化学〕 〔ストツファ- ケミカル ト-メン〕

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
5.	モリネート・M・B AS	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カー ボチオエート (モリネート) 8 % 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル (MCPB) 1 % イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン-(4)-2 2-ジオキシド (BAS-3510) 10 %	八 洲 化 学 住 友 化 学
6	モリネート・K・B AS	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カー ボチオエート (モリネート) 6 % N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア (KUE-20 79A) 2 % 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン-(4)-2 2-ジオキシド (BAS-3510) 10 %	モリネート普及会 〔八 洲 化 学〕 〔三 笠 化 学〕 〔ストツファア・ケ〕 〔ミカルト・メン〕 日 本 特 殊 農 薬 住 友 化 学
7	NTN-72・K (25)	粒	未 公 開 (NTN-72) 7 % (KUE-2079A) 25 %	日 本 特 殊 農 薬
8	NTN-72・K・X	粒	未公開 (NTN-72) N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア (KUE-207 9A) 25 % 未 公 開 10 %	日 本 特 殊 農 薬
9	CG-102 (5.5)	粒	N-(40-ジプロピルジチオホスホリルアセチル) -2-メチルビペリジン (CG-7102) 4.4 % 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(α,β -ジメ チルアミノ)-S-トリアジン (CG-7103) 1.1 %	日本チバガイギー
10	B-3015・K	粒	S-(4-クロロベンジル)N,N'-ジエチルチオール カーバメイト (ベンチオカーブ) 7 % N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロメチルメルカ プトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア (KUE-2097A) 25 %	ク ミ ア イ 化 学
11	TH-63	粒	S-(2-メチル-1,1-ビペリジル-カルボニルメチ ル)-40-ジ-n-プロピルジチオフオスフェート (ビ ペロホス) 4.4 % 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2-ジメ チルプロピルアミノ)-S-トリアジン (キントメトリ ン) 1.1 % 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン-(4) 2,2-ジオキシド (BAS-3510) 10 %	武 田 薬 品

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
12	B-3015・S・BAS	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリアジン(シメトリン) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン(4)-2,2-ジオキソド(BAS-3510) 1.0%	クミアイ化学
13	B-3015・BAS	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(B-3015) 7% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン(4)-2,2-ジオキソド(BAS-3510) 1.0%	クミアイ化学
14	B-3015・S 新処法	粒	S-(4-クロルベンジル)-N,N-ジエチルチオールカーバメイト 7% 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン 2.5%	クミアイ化学
15	NH-703	粒	S-(4-クロルベンジン)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 1.0% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル(MCPB) 0.7%	日本農薬 クミアイ化学
16	KH-188	粒	2-アミノ-3-クロルナフトキノ(ACN) 4.5% 2-クロル-2,6-ジエチル-N-(フトキシメチル)-アセトアニリド(ブタクロール) 2.5%	兼 商
17	B-3015・K・BAS	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト 7% N-(3-クロロ-4-ジクロロクロルメチルメルカプトフェニル)-N,N'-ジメチルウレア 2.5% 3-(イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン(4)-2,2-ジオキサイド 1.0%	クミアイ化学
18	B-3015・S・MCPB	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルカーバメイト 7% 2-エチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン 2.5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酪酸エチル(MCPB) 1%	クミアイ化学
19	S-28・S	粒	O-エチル-O-(3-メチル-6-ニトロフェニル)-N-セカンダリブチルホスホロチオアミデート(S-28) 7%	住友化学

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
19			シメトリン 1.5%	
20	S-28・AM	粒	O-エチル-O-(3-メチル-6-ニトロフェニル) -N-セカンダリーブチルホスホロチオアミデート (S-28) 7% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸アリル(アリル MCP)	石原産業

Ⅱ-(5) 適用拡大

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	シメトリン・MCP B	粒	2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリ アジン(シメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 1%	日本化薬
2	NK-049・S	粒	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン (NK-049) 8% N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミ ド-S-(0-ジイソプロピルホスホロチオエート) (SAP) 3%	同上
3	CG-102 (5.5)	粒	N-(0-ジプロピルジチオホスホリルアセチル) -2-メチルピペリジン(CG-7102) 4.4% 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(α,β -ジメ チルアミノ-S-トリアジン(CG-7103) 1.1%	日本チバガイギー
4	ブタクロール・S	粒	2-クロル-2'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド(ブタクロール) 4% 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-S-トリ アジン(シメトリン) 1.3%	日本モンサント
5	X-52・AM	粒	2,4-ジクロロフェノキシ-2'-メトキシ-4'-ニトロ フェニルエーテル(X-52) 7% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸-アリルエス テル(AM) 1.5%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
6	B-3015S	粒	S-(4-クロルベンジン)N,N'-ジエチルチオールカ ーバメイト(ベンチオカーブ) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリ アジン(シメトリン) 1.5%	クミアイ化学

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
7	B-3015 (→B-3015S)	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオカーバ メイト(ペンチオカーブ) 10%	クミアイ化学
8	モリネート・SM	粒	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カー ボチオエート(モリネート) 8% 2-メチルチオ-4,6-ビス(エチルアミノ)-S-オ リアジン(シメトリン) 1.5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.6%	モリネート普及会 〔八洲化学〕 〔三笠化学〕 〔ストッフアー・ケ〕 〔ミカルトーメン〕
9	KH-159	粒	2-アミノ-8-クロルナフトキノ(ACN) 5% 2,4-ジクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル (NIP) 5% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.6%	兼 商
10	ブタクロール	粒	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) -アセトアニリド(ブタクロール) 5%	日本モンサント
11	MTS-1	粒	2,4,6-トリクロルフエニル-4'-ニトロフェニルエー テル(CNP) 9% 1-(α , α -ジメチルベンジン)-3-(パラトリル) ウレア(SK-23) 7%	昭和電工 三井東洋
12	NIP・Q	粒	2,4-ジクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル (NIP) 6% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸(ナトリウム) (MCP) 0.4%	東京有機化学
13	X-52・AM	粒	2,4-ジクロルフエノキシ-3'-メトキシ-4'-ニトロ フェニルエーテル(X-52) 7% 2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸-アリルエステ ル(AM) 1.5%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
14	MCP・BAS	水和	2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 30%	日産化学 石原産業
15	MCP・BAS	粒	2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸エチル(MCP) 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 10%	同 上

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
16	2,4PA・BAS	水 和	2,4-ジクロロフエノキシ酢酸 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) 2,2-ジオキシド(BAS-3510) 3.0%	日 産 化 学 石 原 産 業
17	2,4PA・BAS	粒	2,4-ジクロロフエノキシ酢酸 1.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン(4) -2,2-ジオキシド(BAS-3510) 1.0%	同 上
18	HOK-7505	粒	2-メチル-4-クロロフエノキシチオ酢酸-S-エチル(フエノチオール) 0.7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリアジン(シメトリン) 1.5% 2.5%	北 興 化 学

Ⅱ-1 港水直播

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	G-315	乳	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン(オキサジアゾン) 1.2%	ロンスター普及会 〔日産化学〕 〔北興化学〕
2	B-3015	乳	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 5.0%	クミアイ化学
3	B-3015	粒	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト(ベンチオカーブ) 1.0%	同 上
4	モリネート・K	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート(モリネート) 6% N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカプトリフェニル)-N'-ジメチルウレア(KUE-2079) 2.5%	モリネート普及会 日本特殊農薬

Ⅱ-2 乾田直播

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	プロメトリン	水 和	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S-トリアジン(プロメトリン) 5.0%	日 本 化 薬
2	モリネート・SM	粒	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート(モリネート) 8% 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-S-トリアジン(シメトリン) 1.5%	モリネート普及会 〔八洲化学〕 〔三笠化学〕

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
2			2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.8%	ストツファ- ケミカルト-メン
3	BAS-3510	水 和	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアシアジノン-(4)- 2,2-ジオキサイド(BAS-3510) 5.0%	住 友 化 学
4	NTN-80	乳	未 公 開 3.0%	日 本 特 殊 農 薬

Ⅳ 畦 畔

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	DPA・DCMU・ MCP	粒	3,4-ジクロロプロピオンアニリド(DPA) 4.0% 3-(3,4-ジクロロフェニル)1,1-ジメチルウレア (DCMU) 3% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸(エチル) (MCP) 3%	石 原 産 業
2	Y-471-H	水 和	3,4-ジクロロプロピオンアニリド(DPA) 4.0% 3-(3,4-ジクロロフェニル)1,1-ジメチルウレア (DCMU) 2.5% 2,4-ジクロロフェノキシアシッド(2,4PA) 2.0%	山 本 農 薬

V 休 耕 田

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	Y-471-H	水 和	3,4-ジクロロプロピオンアニリド(DPA) 4.0% 3-(3,4-ジクロロフェニル)1,1-ジメチルウレア (DCMU) 2.5% 2,4-ジクロロフェノキシアシッド(2,4PA) 2.0%	山 本 農 薬
2	デゾレート・A	粉	塩素酸ナトリウム 6.0%	日 本 カ-リ-ット
3	DPA・DCMU・ MCP	粒	3,4-ジクロロプロピオンアニリド(DPA) 4.0% 3-(3,4-ジクロロフェニル)1,1-ジメチルウレア (DCMU) 3% 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸(エチル) (MCP) 3%	石 原 産 業

Ⅵ 耕起前処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1	MON-39	乳	N-(フォスフォノメチル)グリシン-イソプロピルア	日 本 モンサント

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	(グリフォセール)		ミン塩 4863%W/V	

試験 1 ウリカワ対象試験

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	BAS-3510	水 和	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 50%	住 友 化 学
2.	BAS-3510	粒	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 10%	同 上
3.	2,4 P A・BAS	水 和	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 エチル 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 30%	日 産 化 学 石 原 産 業

試験 2

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
1.	BAS-3510	水 和	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 50%	住 友 化 学
2.	BAS-3510	粒	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 10%	同 上
3.	2,4 P A・BAS	水 和	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 エチル 4.5% 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキンド (BAS-3510) 30%	同 上

<第2表> 昭和48年度水稲作関係除草剤実用化判定表

		実	実 および 継	継 続	継続?	中 止
1	I-(1) 移植栽 培		NK-049・S 粒 G-315 乳 改良G-315 乳 X-52・KUE 粒 G-315・B 乳	NK-049 粒 NTN-72・K 粒		
	I-(2) 本 田 移植栽 培	KUE-2079・A 粒	MS-8 粒 MTS-1 粒 SST-5 粒 NK-049・S 粒	MC-61 粒		

[illegible]

	実	実 および 継	継 続	継続?	中 止
Ⅱ 稚 苗 移 植 栽 培	Ⅰ-(5) つづき	HOK-7505A 粒 HOK-7506 粒 (G-315)→ 粒 MCC・M			
	Ⅱ-(1) 土 壤 混 和 処 理	NK-049・S 粒 G-315・B 乳 G-315 乳 X-52・K 粒 B-3015 乳 B-3015・K 乳 NTN-72・K 乳	NK-049 粒 SL-27 液		
	Ⅱ-(2) 移 植 前 後 土 壤 処 理	MS-8 粒 MTS-1 粒 NTN-72・K 粒 モリネート・K 粒 X-52・KUE 粒 SST-5 粒 ブタクロール25 粒	KH-183 粒 MC-61 粒 MC-79 粒		
	Ⅱ-(3) 移 植 後 土 壤 処 理	X-52・B 粒 X-52・AM 粒 MT・B-3015 粒 KH-183 粒 ブタクロール5.0 粒			
	Ⅱ-(4) 茎 葉 兼 土 壤 処 理	新 B-3015・S 粒 X-52・AM・BAS 粒 モリネート・K・M 粒 モリネート・S・M 粒 モリネート・K・BAS 粒 モリネート・M・BAS 粒 NTN-72・K 粒 NTN-72・K・X 粒 CG-102・5.5 粒 TH-63 粒 B-3015・S・BAS 粒 B-3015・BAS 粒 B-3015・K 粒 NH-703 粒 KH-183 粒	X-52・ 粒 モリネートAM B-3015・K・BAS粒 B-3015・S・ MCPB 粒 S-28・S 粒 S-28・AM 粒		
	Ⅱ-(5)	ブタクロール・S 粒	CG-102 5.5 粒	B-3015→ 粒 B-3015・S	

		実	実 および 継	継 続	継続?	中 止
Ⅱ 稚 苗 移 植 栽 培 (つづき)	Ⅱ-5 適 用 拡 大	B-3015・S 粒 NIP・Q 粒	モリネートSM 粒 KH-159 粒 ブタクロール5.0 粒 (X-52)→ 粒 AM (X-52)→ 粒 X-52・AM MCP・BAS 粒 MCP・BAS 水和 2,4PA・BAS 粒 2,4PA・BAS 水和 シメトリン・MCPB 粒 HOK-7505 粒			
Ⅲ 湛 水 直 播			G-315 乳 B-3015 乳 B-3015 粒 モリネート・K 粒			
Ⅳ 乾 田 直 播			モリネートSM 粒 BAS-3510 水和	プロメトリン 水和 NTN-80 乳		
V 畦 畔		Y-471H 水和 DPA・DCMU・MCP 粒				
Ⅵ 休 耕 田			塩素酸ソーダ 粉 (デゾレートA) DPA・DCMU・MCP 粒	X-471H 水和		
Ⅶ 耕 起 前			MON-39 乳			

〔その他作用特性の説明〕

Ⅰ 早期移植栽培

(1) 成苗移植栽培

MC-61粒, MC-79粒, S-28粒, S-28・S粒, S-28・AM粒, CH-721・S粒,
CH-722粒, MT-107粒, MT-108粒, MT-209粒, MT-210粒, MT-211粒,
MT-B3015粒, U-67粒, BAS-01粒, BAS-02粒, BAS-03粒, HOK-750
6粒, SMX粒, PMX粒, MCC・M・BAS粒, Mon-358粒, Mon-385乳,

Mon-385+ブタクロール乳

(2) 稚苗移植栽培

SL-27液, SL-27粒, S-28粒, S-28・S粒, S-28・AM粒, CH-722粒, MT-107粒, MT-209粒, MT-B-3015粒, SW-730水和, SW-731粒, SW-732粒, ANK-553粒, ANK390粒, NP-27水和, NTN-80粒, NTN-80S粒, NTN-72K・X粒, モリネートKM粒, モリネートK・BAS粒, モリネートM・BAS粒, MCC・M・BAS粒

Ⅱ 普通期移植栽培

(1) 成苗移植栽培

MC-79粒, MC-61粒, S-28粒, S-28・S粒, S-28・AM粒, CH-721S粒, CH-722粒, MT-107粒, MT-108粒, MT-209粒, MT-210粒, MT-211粒, MT-B-3015粒, U-67粒, BAS-01粒, BAS-03粒, HOK-7506粒, SMX粒, PMX粒, MCC・M・BAS粒, TH-63・MCPB粒, B-3015S・MCPB粒, Mon-358粒, Mon-385粒, Mon-385・ブタクロールA粒, Mon-385・ブタクロールB粒

(2) 稚苗移植栽培

SL-27液, SL-27粒, S-28粒, S-28・S粒, S-28・AM粒, CH-722粒, MT-107粒, MT-209粒, MT-B-3015粒, SW-730水和, SW-731粒, SW-734粒, SW-732粒, SW-733粒, ANK-553粒, ANK-390粒, NP-27水和, NTN-80粒, NTN-80S粒, NTN-72K・X粒, モリネートKM粒, モリネートK・BAS粒, モリネートM・BAS粒, MCC・M・BAS粒, B-3015・K・BAS粒, Mon-358粒, Mon-385粒, Mon-385・ブタクロールA粒, Mon-385・ブタクロールB粒, XD-39水和, M-351乳

Ⅲ その他変動要因を行つたもの

S-28粒, NK-049S粒, MT-B-3015粒, キントメトリンとその混合剤, S-28・S粒, S-28・AM粒, NTN-72K乳, 改良G-315乳, MS-8粒, SK-23粒, ANK-553粒, ANK-553乳

〔 第1次適用性試験 〕

MC-79粒, MC-61粒, CH-721・S粒, CH-722粒, MT-209粒, MT-210粒, MT-211粒, SL-27液, SL-27粒, MT-B-3015粒, S-28粒, S-28・S粒, CG-102_{5.5}粒, TH-64粒, NH-703粒, S-28・AM粒, HOK-7506粒, PMX粒, SMX粒, MCC・M・BAS粒, SW-731粒, SW-732・X粒[㊤], SW-733粒[㊤], NK-049S粒, NTN-72・K乳, NTN-80S粒, NTN-72・K・X粒, TH-63粒, ANK-553粒, Mon-385粒, Mon-358粒, Mon-385+ブタクロール, Mon-385+ブタクロール, モリネートK・M粒, モリネートK・BAS粒, モリネートM・BAS粒, TH-63MCPB粒

〔パイプダスター研究会〕

NIP粒, CNP粒(9%), CNP粒(18%), X-52粒, B-3015S粒, 新B-3015S粒(新処法), MCC・M粒, モリネートSM粒

＜第3表＞ 昭和48年度水稲作関係実用化除草剤使用基準一覧表

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(1) 移植栽培本田 →土壌混和処理	NK- 049・S粒	土壌混和	植代直前直後 (-3~-2)	⊕ 400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部以 西の普通期	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	G-315乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 50~66cc	砂壤土~埴土 (極端な漏水田は さける)	全域の普通期 (温暖地東部 の早期)	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	改良 G-315乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 50~60cc	砂壤土~埴土 (極端な漏水田は さける)	寒冷地, 温暖 地の普通期	1) 混和時水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	X-52・ KUE 粒	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 400~500	砂壤土~埴土 (3cm/日以下)	温暖地以西の 普通期 (温暖地東部 の早期)	1) 混和時水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	G-315・ B 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 50cc	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒 地	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
I-(2) 移植栽培本田 →移植前後処理	MS-8 粒	土 壤	-2~+8 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
			ホタルイ発生始			寒冷地以北	
	MTS-1粒	土 壤	-3~+7 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 温暖地東部の 早期	
			ホタルイ発生始			温暖地東部以 北	
	SST-5粒	土 壤	-3~-2 +3~+7 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期	
			ホタルイ発生始			寒冷地	
	KUE-20 79・A 粒	土 壤	-3~+8 (発生始)	⊕ 300	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期	1) イネ科除く一 年生雑草対象

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(2) 移植栽培本田→移植前後処理 (つづき)	NK- 049・S粒	土 壤	-2~+5 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期	
	SK-23粒	土 壤	+3~+7 ホタルイ 発生前~1ℓ マツバイ 発生前~発生始	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以北	
	ブタクロール 25 粒	土 壤	-3~+3 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
			ミズガヤツリ 発生始			温暖地西部の 普通期	
			ホタルイ, 発生直 前~1ℓまで			寒地, 寒冷地 北部	
	ブタクロール 5.0 粒	土 壤	-3~+3	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地東部以 北の普通期	
	X-52 ・K 粒	土 壤	-3~+7 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期	
	X-52 ・B 粒	土 壤	-2~+4 ホタルイ 発生前~1ℓ	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地 北部	
	X-52 ・BAS粒	土 壤	+3~+3 (ノビエ1ℓまで) ウリカワ, ミズガ ヤツリ 発生始~盛期	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 暖地の早期	
	モリネート・ K 粒	土 壤	-3~-1 +2~+6	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期, 早期	
I-(3) 移植栽培本田→移植後土壌処理	MC-79粒	土 壤	+3~+7 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以北の 普通期	
	X-52 ・B 粒	土 壤	+5~ノビエ2ℓ (+12頃 寒地は+15頃) ホタルイ1ℓまで	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期 寒 地	
	SKP 粒	土 壤	+3~ノビエ1ℓ まで (+7頃)	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部の 普通期	
	U-67 粒	土 壤	+4~ ホタルイ発生前~2ℓ マツバイ発生盛期 カヤツリグサ "	⊕ 300~400	壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	全域の普通期	ホタルイ, マツバ イ, カヤツリグサ を対象とする。

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(3) 移植栽培本田 → 移植後土壌処理 (つづき)	KW-10粒	土 壌	+5~ノビエ1.5ℓ (+10頃)	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地東部(東海)~西部の普通期	
	ブタクロール 5.0粒	土 壌	+4~ノビエ1.5ℓ (+10頃) ミズガヤツリ 発生始~3ℓ ホタルイ 発生前~2ℓ	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期	
	プロメトリン ・MCPB粒	土 壌	ノビエ1.5ℓ +5~(+10頃)	⊕ 300	砂壤土~埴土 (3cm/日以下)	温暖地東部(関東)以北の普通期	
	MT・B- 3015粒	土 壌 茎葉兼 土壌	+5~ノビエ2ℓ (+12頃) ホタルイ 発生始~2ℓ	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 暖地の早期 寒地, 寒冷地	
I-(4) 移植栽培本田 → 茎葉兼土壌処理	X-52・モ リネート・A M 粒	茎葉兼 土壌	+10~ノビエ 2.5ℓ 但し(寒地, 寒冷 地および早期+1 5~ノビエ2.5ℓ) ミズガヤツリ 発生始~盛期	⊕ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早 期	
	X-52・A M・BAS粒	茎葉兼 土壌	+7~ノビエ1.5ℓ (+10頃) ミズガヤツリ, ウリ カワ 発生始~盛 +7ノビエ1.5ℓ ミズガヤツリ 発生始~盛	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地南部以 西の普通期 温暖地東部の 早期	
	モリネート S粒	茎葉兼 土壌	+7~ノビエ2.5ℓ (+15頃) 但し寒冷地は +7~20ℓ (+15頃)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (極端な溺水は除 く)	全域の普通期 早 期	※シメトリン シメトリン混合剤 の使用上の注意を まもる。
	TH-62・ DM-1 粒	茎葉兼 土壌	+11~ノビエ 2.5ℓ	⊕ 300~400	壤土~埴土 (1cm/日以下)	寒冷地	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(4) 移植栽培本田 — 茎葉兼土壌処理 (つづき)	KH— 183粒	土 壤 茎葉兼 土壌	+3~ノビエ15ℓ (+10頃)	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
			ヘラオモダカ 発生前 ホタルイ 発生前~2ℓ			寒 地	
	モリネート S M 粒	茎葉兼 土壌	+10~ノビエ 35ℓ 但し寒地は+15 ~ノビエ25ℓ ヘラオモダカ 発生始~2ℓ ホタルイ, ウリカワ 発生盛~発生前	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 早期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。
	CG—102 5.5粒	茎葉兼 土壌	+7~ノビエ25ℓ 但し寒地は+15 ノビエ20ℓまで	㊥ 300~400	埴土~埴土 (極端な漏水田は 除く) 砂壤土は, 3cm/日以下	全域の普通期 早期	※シメトリン, シ メトリン混合剤と 同様の使用上の注 意をまもる。
	CG—102 6.5粒	茎葉兼 土壌	+7~ノビエ30 ℓまで	㊥ 300~400	埴土~埴土 (極端な漏水田は 除く)	寒冷地以西の 普通期	※シメトリン, シ メトリン混合剤と 同様の使用上の注 意をまもる。
	TH—63粒	茎葉兼 土壌	+7~ノビエ25ℓ ホタルイ; 始~5ℓ ウリカワ; 4~5ℓまで ミズガヤツリ; 4~6ℓまで ヘラオモダカ; 始~盛	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (2.0cm/日以下)	全域の普通期 早期	※シメトリン, シ メトリン混合剤と 同様の使用上の注 意をまもる。
	シメトリン・ MCPB 粒	茎葉兼 土壌	+7~ノビエ2ℓ (+12頃)	+7~+10 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地, 温暖 地の普通期	※シメトリン, シ メトリン混合剤と 同様の使用上の注 意をまもる。
			ウリカワ 発生始~盛 (+10~15頃)	+10以降 400		寒冷地南部~ 温暖地西部(近隣)の普通 期	
	シメトリン・ MCPB 粒	茎葉兼 土壌	+5~ノビエ2ℓ (+12頃)	㊥ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。
			ウリカワ 発生盛~揃期 (4~5ℓ)			温暖地西部の 普通期	

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(4) 移植栽培本田 — 茎葉兼土壌処理 (つづき)	HE-314 ・BAS 粒	茎葉兼 土壌	+8〜ノビエ1.5ℓ (+12頃) ホタルイ: 始〜5ℓ ミズガヤツリ: 2〜5ℓ ウリカワ: 発生揃	⊕ 400	壤土〜埴土 (1cm/日以下)	温暖地以北の 普通期	
	B-3015 ・BAS 粒	茎葉兼 土壌	+6〜ノビエ1.5ℓ (+10頃) ミズガヤツリ: 発生始〜盛 ウリカワ: 発生揃 (8〜5ℓ)	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 温暖地西部以 西の普通期	
	B-3015 ・S・BAS 粒	茎葉兼 土壌	+7〜ノビエ2.5ℓ 寒地+7〜2ℓ ウリカワ, ホタル イ, ミズガヤツリ 発生盛〜揃期 ミズガヤ 盛〜揃	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (2.0cm/日以下)	全域の普通期 温暖地東部の 早期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。
	B-3015 ・K 粒	茎葉兼 土壌	+8〜ノビエ2.5ℓ (+15頃)	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期, 温暖 地東部の早期	
	NH-708 粒	茎葉兼 土壌	+7〜ノビエ2ℓ (+12頃)	⊕ 300	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 暖地の早期	
	MCC・M・ BAS 粒	茎葉兼 土壌	+10〜ノビエ2ℓ まで (+15頃) ホタルイ: 始〜4ℓ ヘラオモ: 始〜2ℓ	⊕ 300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地 寒 地	
	SMX 粒	茎葉兼 土壌	+7〜ノビエ2ℓま で (+12頃) ウリカワ: 3〜5ℓ	⊕ 300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	温暖地の普通 期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。
	S-28・S 粒	茎葉兼 土壌	+7〜ノビエ1.5ℓ (+12頃)	⊕ 300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	温暖地以北の 普通期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。
	新B-301 5・S 粒	茎葉兼 土壌	+7〜ノビエ2.5ℓ (15日頃) 寒地は2.0ℓ (+15頃)	⊕ 300〜400	砂壤土〜埴土 (極端な漏水田は 除く)	全域の普通期 早期	※シメトリン, シ メトリン混合剤の 使用上の注意をま もる。

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(4) (つぎ)	B-3015 ・K・BAS 粒	茎葉兼 土壌	+8~ノビエ2.5ℓ (+1.2頃) ウリカワ:3~4ℓ	㊥ 300~400	壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	暖地の普通期	
	TH-63・ MCPB 粒	茎葉兼 土壌	+10~ノビエ 2.5ℓ ウリカワ, ミズガ ヤツリ 4~5ℓ	㊥ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部の 普通期	※シメトリン, シ メトリン混合剤と 同様の注意をまも る。
I-(5) 移 植 栽 培 本 田 適 用 拡 大	CG-102 5.5 粒	茎葉兼 土壌	田植前後土壌処理 した場合+1.6~ 2.5(2.5ℓまで)	㊥ 300~400	壤土~埴土 (3cm/日以下)	寒 冷 地	
	X-52・ AM 粒	土 壌	田植前後処理した 場合+1.0~2.5 (ノビエ1ℓまで)	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地東部以 北の普通期	
	MCP・BA S 粒	茎 葉	MCPに準ずる一 年生非イネ科及び ホタルイ 4ℓ ミズガヤツリ5.6ℓ ウリカワ塊茎形成前 ヘラオモダカ4.5ℓ	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地東部以 北の普通期, 温暖地東部の 早期	前処理剤を組合 せて使用する
	MCP・BA S 水和	茎 葉	MCPに準ずる一 年生非イネ科及び ホタルイ 4ℓ ミズガヤツリ7.8ℓ ウリカワ塊茎形成前 ヘラオモダカ4.5ℓ	㊥ 100	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地西部(近畿)以北の 普通期	前処理剤と組合 わせて使用する
	2,4PA・ BAS 粒	茎 葉	2,4PAに準ずる 一年生非イネ科 ホタルイ 4ℓ ミズガヤツリ5.6ℓ ウリカワ塊茎形成前	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	前処理剤を組合 わせて使用する
	2,4PA・ BAS 水和	茎 葉	2,4PAに準ず る一年生非イネ科 ホタルイ 4ℓ ミズガヤツリ7.8ℓ ウリカワ塊茎形成前	㊥ 100	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	前処理剤を組み合 わせて使用する
	BAS- 3510 粒	茎 葉	一年生非イネ科及 びホタルイ, ウリ カワ, ミズガヤツ リ, ヘラオモダカ 発生盛~揃 ウリカワ, ミズガ ヤツリ, 発生揃	㊥ 400~600	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	全域の普通期 温暖地東部の 早期	前処理剤と組合 わせて使用する

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(5) 移 植 栽 培 本 田 適 用 拡 大 (つづき)	KH-159 粒	土 壤 茎・土	田植前後土壌処理 した場合 +10~15 (ノビエ1ℓまで)	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	前処理剤との組合 わせて使用する。
			ウリカワ 発生盛			温暖地以西の 普通期	
			ホタルイ 発生盛			寒 冷 地	
	KH-183 粒	土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +10~+20 (ノビエ1.5ℓまで) ヘラオモダカ, ホ タルイ, 発生前~始	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地	前処理剤との組合 わせて使用する。
	HOK-75 05(B) 粒	茎 葉 兼 土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +15~25 (ノビエ2ℓまで) ウリカワ 発生盛期	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (3cm/日以下)	寒冷地南部, 温暖地普通期	前処理剤との組み 合わせて使用する
	HOK-75 05(A) 粒	茎 葉 兼 土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +15~25 (ノビエ2ℓまで) ウリカワ, ホタルイ 発生盛期	㊥ 300~400	砂壤土~埴土 (3cm/日以下)	寒冷地, 温暖 地東部の普通 期, 早期	前処理剤との組合 わせて使用する
	HOK- 7506粒	茎 葉	+25~30 一年生非イネ科及 び(ホタルイ, ウ リカワ) 発生盛~揃	㊥ 300~400	埴土~埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地, 温暖 地の普通期	前処理剤と組み合 わせて使用する
	NIP・Q粒	土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +10~+15 (ノビエ1ℓまで)	㊥ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	前処理剤との組み 合わせて使用する
	(G-315)→ MCC・M 粒	茎 葉 兼 土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +20~+25 (ノビエ2ℓ) ヘラオモダカ, ホタ ルイ, ミズガヤツリ 発生始~盛期	㊥ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地	前処理剤との組み 合わせて使用する

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適 用 地 帯	使用上の注意
Ⅱ- (1) 稚 苗 移 植 栽 培 土 壤 混 和 処 理	NK-049 ・S 粒	土壌混和	植代直前直後 (-3~-2)	⊕ 400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部の 普通期	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	G-315 ・B 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	50cc	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 暖地の早期	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	G-315乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 50cc	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	1) 混和時の水深 3~5cm
					壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 早期(九州除 く)	2) 混和深度 2~3cm
	X-52 ・K 粒	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1) 植代直後のみ (-3~-1)	⊕ 400~500	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期, 早期 寒 地	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	B-3015 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1) 植代直後のみ (-3~-1)	⊕ 80~120	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 寒 地	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	B-3015 ・K 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 50~75cc	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期及び暖 地の早期	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
Ⅱ- (2) 稚 苗 移 植 栽 培 移 植 前 後 土 壤 処 理	NTN-72 ・K 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	⊕ 100~ 120cc	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	1) 混和時の水深 3~5cm 2) 混和深 2~3cm
	MS-8 粒	土 壤	-3~+7 (ノビエ1ℓまで) ホタルイ, 発生始	⊕ 300	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	
			+0~+7 (ノビエ1ℓまで)			温暖地東部の 普通期	
	MTS-1粒	土 壤	-3~+7 (ノビエ1ℓまで) ホタルイ 発生始まで	⊕ 300	壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
						寒 冷 地	
	NTN-72 ・K 粒	土 壤	-3~+3 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ一(2) 稚苗移植栽培→移植前後土壌処理(つつき)	モリネート・ K 粒	土 壌	-3~-2 +3~+6	⊕ 300	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	
	X-52・ KUE 粒	土 壌	-3~+6 (ノビエ1ℓまで)	⊕ 300	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	
	SST-5 粒	土 壌	+3~+5 (ノビエ1ℓまで) ホタルイ発生始を も含める	⊕ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期 寒地, 寒冷地	
	ブタクロール 25 粒	土 壌	-3~+3	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 温暖地東部の 早期	コナギ多発田での 使用はさける
			+0~+3	⊕ 300		寒 地	
Ⅱ一(3) 稚苗移植栽培→移植後土壌処理	X-52・B 粒	土 壌	+7~ノビエ2ℓ まで(+12頃) 但し, 寒地は+7 ~ノビエ1.5ℓま で(+15頃)	⊕ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
			ホタルイ 発生始~1ℓ			寒地, 寒冷地	
	X-52・ AM 粒	土 壌	+8~ノビエ1.5 ℓ(+10頃)	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部以 西の普通期 (温暖地西部 の早植, 高冷 地は除く)	
	MT・B- 3015 粒	土 壌	+5~ノビエ1.5 ℓまで(+10頃)	⊕ 300~400	埴土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期	
			ホタルイ 発生始~2ℓ			寒 冷 地	
	KH-183 粒	土 壌	+5~ノビエ1.5 ℓまで(+10頃) 但し寒地は+10 ~ノビエ1.5ℓま で(+15頃)	⊕ 300~400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	
			ホタルイ発生前~始 ヘラオモダカ発生前			寒地, 寒冷地	
	ブタクロール 5.0 粒	土 壌	+4~ノビエ1.5 ℓ(+10頃) ホタルイ2ℓまで ミズガヤツリ 発生始~3ℓ	⊕ 300	埴土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通期	

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ-4) 稚 苗 移 植 栽 培 茎 葉 兼 土 壤 処 理	X-52・A M・BAS粒	茎 葉 兼 土 壤	+7〜ノビエ1.5ℓ (+10頃) ウリカワ 発生始〜盛期	⊕ 300~400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部以 西の普通期	
	モリネート・ KM 粒	茎 葉 兼 土 壤	+10〜ノビエ2 5ℓ (+15頃) ホタルイ 発生始〜盛期	⊕ 300	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 寒 冷 地	
	モリネート・ SM 粒	茎 葉 兼 土 壤	+1.5〜ノビエ 3.5ℓ ウリカワ 発生盛〜摘期	⊕ 300~400	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地, 温暖 地の普通期 温暖地東部の 早期	
	モリネート・ K・BAS粒	茎 葉 兼 土 壤	+7〜ノビエ2.5ℓ (+15頃) ミズガヤツリ 発生盛〜4.5ℓ	⊕ 300~400	砂壤土〜埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 温暖地東部の 早期, 温暖地 以西の普通期 寒 冷 地	
			ホタルイ 発生始〜盛				
	モリネート・ M・BAS粒	茎 葉 兼 土 壤	+10〜ノビエ2 ℓまで ホタルイ 発生盛〜摘 ウリカワ4〜5ℓ	⊕ 300~400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	
	NTN-72 ・K 粒	茎 葉 兼 土 壤	+7〜ノビエ1.5ℓ (+10頃)	⊕ 300	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期 寒 冷 地	
					壤土〜埴土 (2cm/日以下)		
	NTN-72 ・K・X 粒	茎 葉 兼 土 壤	+7〜ノビエ1.5ℓ ヘラオモダカ, ホタ ルイ 発生始〜盛 ミズガヤツリ 発生始〜2ℓ	⊕ 300~400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地	
	NH-703 粒	茎 葉 兼 土 壤	+5〜ノビエ2ℓ まで (+12頃) 但し温暖地東部は +9〜ノビエ2ℓ まで	⊕ 300~400	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西の 普通期	
	B-3015 ・BAS 粒	茎 葉 兼 土 壤	+8〜ノビエ1.5ℓ	⊕ 300~400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期 寒 冷 地 暖地の普通期	
			ホタルイ 始〜4ℓ				
			ウリカワ 3〜5ℓ				

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ-④ 稚 苗 移 植 栽 培 — 茎 葉 兼 土 壌 処 理 (うづき)	B-3015 ・K 粒	茎 葉 兼 土 壌	+7～ノビエ2ℓ (+12頃)	⊕ 300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期	
	新B-301 5・S 粒	茎 葉 兼 土 壌	+8～ノビエ25ℓ (15頃) 寒地は20ℓ (+15頃)	⊕ 300	埴土～埴土 (極端な漏水田は 除く)	温暖地以北の 普通期, 早期	※シメトリン シメトリン混合剤 の使用上の注意を まもる
	CG-102 5.5 粒	茎 葉 兼 土 壌	+8～ノビエ25ℓ (+15頃) 但し寒冷地は, +10～ノビエ25 ℓ (20日頃) ヘラオモダカ 発生盛	⊕ 300	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期, 暖地 の早期 寒 冷 地	
	TH-63粒	茎 葉 兼 土 壌	+8～ノビエ25ℓ (+15頃) 但し寒冷地は, +10～25ℓ (+20頃) ホタルイ 始～5ℓ ウリカワ 4～5ℓ ミズガヤツリ盛～揃 ヘラオモダカ始～盛	⊕ 300	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期, 早期 寒 冷 地	
	B-3015 ・S・BAS 粒	茎 葉 兼 土 壌	+8～ノビエ25ℓ (+15頃) 但し寒冷地は, +10～25ℓ (+20頃) ミズガヤツリ盛～揃 ウリカワ 盛～揃 ホタルイ 盛～揃	⊕ 300	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地, 温暖 地の普通期 温暖地東部の 早期 温暖地西部の 普通期 寒 冷 地	
Ⅱ-⑤ 稚 苗 移 植 栽 培 — 適 用 拡 大	CG-102 5.5 粒	茎 葉 兼 土 壌	田植前後に土壌処 理した場合 +15～25 (ノビエ25ℓまで) ヘラオモダカ 発生始～盛	⊕ 300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	前処理剤との組み 合せて使用する
	ブタクロー S 粒	茎 葉 兼 土 壌	田植前後土壌処理 した場合, +20 ～25(2ℓまで) ヘラオモダカ, ホタルイ 2ℓまで	⊕ 300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地	前処理剤との組み 合せて使用する

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ-5) 稚 苗 移 植 栽 培 適 用 拡 大 (つづき)	モリネート SM粒	茎 葉 兼 土 壌	田植前後土壌処理 した場合 +25~30 (ノビエ35ℓまで) ヘラオモダカ, オ モダカ 3~4ℓ	㊥ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	前処理剤との組み 合せて使用する
	KH-159 粒	土 壌	田植前後土壌処理 した場合 +10~+15 (ノビエ1ℓまで)	㊥ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西の 普通期	前処理剤との組み 合せて使用する
			ホタルイ 発生始~盛期			寒 冷 地	
			ウリカワ2~3ℓ			暖 地	
	ブタクロール 5.0 粒	土 壌	田植前後土壌処理 した場合+15~ +20(1.5ℓ) ホタルイ2ℓまで ミズガヤツリ 3ℓまで	㊥ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒地, 寒冷地	前処理剤との組み 合せて使用する
	B-3015 ・S 粒	茎 葉 兼 土 壌	田植前後土壌処理 した場合 +15~25 (ノビエ20ℓまで)	㊥ 300~400 寒地は 300	砂壤土~埴土 (極端な漏水田は さける)	全域の普通期 早期	前処理剤との組み 合せて使用する
	NIP・Q粒	土 壌	田植前後土壌処理 した場合 +15~25 (ノビエ1ℓ)	㊥ 300	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	前処理剤との組み 合せて使用する
	(X-52)→ X-52・AM 粒	土 壌	田植前後土壌処理 した場合 +10~15 (ノビエ15ℓ) 但し寒地, 寒冷地 では+20~30 (ノビエ1ℓまで)	㊥ 300	壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	全域の普通期 (温暖地西部 の早植, 高冷 地は除く)	前処理剤との組み 合せて使用する
	(X-52)→ AM 粒	茎 葉 兼 土 壌	田植前後土壌処理 した場合 +15~ ウリカワ 4.5ℓまで	㊥ 300~400	壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地西部以 西の普通期, 早期	1) ウリカワ多発 田を対象とする 2) 前処理剤との 組み合せて使用 する
	MCP・BA S 粒	茎 葉 兼 土 壌	MCPに準ずる (一年生非イネ科 ミズガヤツリ, ウリ カワ, ホタルイ)	㊥ 300~400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	前処理剤との組み 合せて使用する

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ—(5) 稚 苗 移 植 栽 培 適 用 拡 大 (つづき)	MCP・BAS 水和	茎 葉 土 壤	MCPに準ずる (一年生非イネ科 ウリカワ、ミズガ ヤツリ)	⊕ 100cc	全 土 壤	温暖地東部の 普通期	1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する 2) 落水茎葉処理 する
	2,4PA・BAS 粒	茎 葉 兼 土 壤	2,4PA 処理に 準ずる。 (一年生非イネ科 ミズガヤツリ)	⊕ 300~400	砂壤土~壇土 (1.5cm/日以下)	暖地の普通期	前処理剤との組み 合わせで使用する
	2,4PA・BAS 水和	茎 葉	2,4PA 処理期 に準ずる。 (一年生非イネ科 ウリカワ)	⊕ 100cc	全 土 壤	温暖地東部の 普通期	1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する 2) 落水茎葉処理 する
	シメトリン・MCPB 粒	茎 葉 兼 土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +20~25 (ノビエ2ℓまで) ウリカワ 発生揃~4.5ℓ	⊕ 300	壇土~壇土 (2cm/日以下)	温暖地の普通 期 温暖地東部の 普通期、早期	前処理剤との組み 合わせで使用する
	HOK-75 05 粒	茎 葉 兼 土 壤	田植前後土壌処理 した場合 +20~25 (ノビエ2ℓまで)	⊕ 300~400	壇土~壇土 (2cm/日以下)	温暖地東部の 普通期、早期	前処理剤との組み 合わせで使用する
Ⅲ—(1) 湛 水 直 播	G-315乳	土壌混和	播 種 前 —4— —8— 植代直後	⊕ 33~50cc	壇土~壇土 (極端な漏水田は さける)	温暖地西部以 西 寒 冷 地	 保温折衷直播
	B-3015 乳	土 壤	播 種 前 —2— 播 種 後 +10頃 (ノビエ0.5ℓまで)	⊕ 60	壇土~壇土 (2cm/日以下)	寒 地	他は前年度使用規 準通り
	B-3015 粒	土 壤	播 種 前 —2— 播 種 後 +10頃 (ノビエ0.5ℓ)	⊕ 300	壇土~壇土 (2cm/日以下)	寒 地	他は前年度使用規 準通り
	モリネート・K 粒	茎 葉 兼 土 壤	播 種 後 7日~10日 (イネ1.5ℓ以后 ノビエ2ℓまで、 コナギ3ℓまで)	⊕ 300	壇壇土~壇土 (1cm/日以下)	暖 地	

	薬 剤 名	処理法	処 理 時 期	使 用 量 (成 分)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅲ-② 乾 田 直 播	モリネート SM 粒	茎 葉 兼 土 壌	入 水 後 15日前後 ノビエ35ℓまで	㊥ 300~400	壤土~埴土 (3cm/日以下)	暖 地	1) 漏水が安定し てから処理する 2) シメトリン、 シメトリン混合 剤の使用上の注 意をまもる
	BAS-35 10 水和	茎 葉	入 水 後 ミズガヤツリ 4~6ℓ	㊥ 60~120	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地南部、 温暖地	
Ⅳ 畦 畔	Y-47H 水和	土 壌	雑草発生前 ~発生盛期	㊥ 100~150	全 土 壤	寒冷地以西	1) ノリ面散布は さける 2) 稲体にかから ぬようにする 3) 流入による薬 害のおそれをな くする
	DPA・DC MU・MCP 粒	土 壌	雑草発生前 ~発生始	㊥ 500~800	全 土 壤	全 域	1) ノリ面散布は さける 2) 稲体にかから ぬようにする 3) 流入による薬 害の恐れをなく す
Ⅴ 休 耕 田	塩素酸ソーダ (デソレートA) 粉	茎 葉 兼 土 壌	雑草生育期 (6~7月)	1200 ~1600	全 土 壤	温暖地東部	一年生を主体とし 年内に作付しない 水田
	DPA・DC MU・MCP 粒	土 壌	キシユウスズメノ ヒエの発生前又は 再生前	㊥ 1000 ~1500	全 土 壤	暖 地	キシユウスズメノ ヒエ多発田で年内 に作付をしない水 田
Ⅵ 耕 起 前	MON-39 乳	茎 葉	耕 起 前 30~40日	㊥ 50~ 100CC	全 土 壤	寒冷地以西	1) イネ科優占圃 場 2) 稀釈水量2ℓ /a以上で茎葉 にムラなく散布 する

昭和48年度畑作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和48年度畑作関係除草剤の試験成績中央検討会は、昭和48年12月13日、14日の2日間、東京（農林年金会館）において、開催されたので、その結果をここに紹介する。

昭和48年度に供試された畑作除草剤の年次別推移は、第1表のとおりである。また、供試

薬剤の成分一覧は、第2表、第3表に示すとおりである。これらの薬剤の試験結果の判定は、第4表に示すとおりであるが、実用化に移されたものは、10作物19薬剤で、実用化とともに、一部継続に移されたものは、6作物12薬剤である。実用化及び、実・継薬剤の使用基準を示すと、第5表のとおりである。

＜第1表＞ 畑作用除草剤試験の推移

	供 試 薬 剤 数							
	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度
A 除 草 剤								
畑作物一般	12	6	9	7	11	5	10	9
陸 稲	14	10	11	9	9	6	3	3
麦 類	4	2	4	4	2	—	3	1
とうもろこし	4	3	4	6	8	13	4	2
甘 藷	9	3	5	4	5	3	3	5
馬 鈴 薯	1	0	3	4	8	11	13	4
さとうきび	1	1	0	0	1	2	1	3
大 豆	10	3	4	14	8	12	10	15
小 豆	4	3	1	7	5	6	4	6
菜 豆	1	3	5	6	8	9	5	8
落 花 生	5	7	4	12	9	12	5	7
てんさい	4	9	5	6	6	6	5	6
その他	2	3	1	3	1	7	3	3
B マルチ除草剤								
稲	—	—	12	4	5	—	—	—
早掘甘藷	—	—	—	1	2	2	—	—
とうもろこし	—	—	1	2	2	—	—	—
落 花 生	—	—	—	1	2	3	2	0
その他	—	—	1	2	6	2	—	—
C 転換畑用除草剤	—	—	—	—	—	6	—	—
合 計	71	53	63	92	98	104	71	71

＜第2表＞ 昭和48年度畑作関係作用性試験供試除草剤成分一覧表

I 新除草剤定性スクリーニング試験

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分及び成分含有率	委託会社
1) 畑作一般	1. NP-23	水和剤	未公開 50%	日本曹達 株式会社
	2. NP-24	水和剤	未公開 40%	同上
	3. MC-79	乳剤	2-ニトロ-5-(2',4'-ジクロロフェノキシ)ベンゾイック-アミッドメチルエステル 20%	モータウン研究会 〔モービル石油 株式会社〕 八洲化学 株式会社 北興化学 株式会社
	4. プロメトリン・アラクロール	乳剤	プロメトリン：2-メチルチオ4,6-ビス(イソプロピルアミノ)S-トリアジン 15% アラクロール：2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 20% (15+20%)	日産化学 株式会社 日本農薬 株式会社
	5. ANK-553	乳剤	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ-3,4-キシリジン 30%	ANK研究会 〔日本農薬 株式会社〕 クミアイ化学 株式会社
	6. MT-109	乳剤	ジフェニルエーテル系 20%	三井東圧化学 株式会社
	7. RE-75	水和剤	未公開 50%	株式会社 トーメン

II 作用特性試験

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分及び成分含有率	委託会社
1) とうもろこし	RE-75	水和剤	未公開 50%	株式会社 トーメン
	アトラジン500 FW	乳剤	2-クロール-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 50%	日本チバガイギー 株式会社
	プロメトリン・アラクロール	乳剤	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノS-トリアジン(プロメトリン) 15% 2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 21.5%	日本モンサント 株式会社 日産化学 株式会社
	SKH-01	水和剤	2-(4-クロール-6-エチルアミノ-S-トリアジン-2-イルアミノ)-2-メチル-プロピオニトリル 50%	シエル化学 株式会社

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
2) 陸 稲	プロメトリン・アラクロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S-トリアジン(プロメトリン) 15% 2-クロル-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 21.5%	日本モンサント 日 産 化 学
3) 馬 鈴 薯	プロメトリン・アラクロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S-トリアジン(プロメトリン) 15% 2-クロル-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 21.5%	同 上
4) て ん さ い	IPC・アラクロール	乳	イソプロピルN-(3-クロロフェニル)-カーバメイト(CIPC) 21.5% 2-クロル-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 21.5%	同 上
	SL-38	乳	未 公 開 20%	石 原 産 業
5) 落 花 生	SW-730	水 和	未 公 開 50%	三 共
	SL-67	水 和	未 公 開 40%	石 原 産 業
	SL-98	水 和	未 公 開 40%	同 上
	NP-23	水 和	未 公 開 50%	日 本 曹 達
	NP-24	水 和	未 公 開 40%	同 上
	NP-25	水 和	未 公 開 40%	同 上
	ANK-553	乳	N-(1-エチルプロピル)2,6-ジニトロ-3,4-キシリダイン 30%	ANK 研究会 〔クミアイ化学〕 〔日本農薬〕
6) 大 豆	RE-75	水 和	未 公 開 50%	ト ー メ ン
	SW-730	乳	2-クロル-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 50%	日本チバガイギー
	SL-67	水 和	未 公 開 40%	石 原 産 業
	SL-98	水 和	未 公 開 40%	同 上

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社
6) 大 豆 (つづき)	NP-23	水 和	未 公 開 50%	日 本 曹 達
	NP-24	水 和	未 公 開 40%	同 上
	NP-25	水 和	未 公 開 40%	同 上
	プロメトリン・アラ クロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミ ノS-トリアジン(プロメトリン) 15% 2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル) アセトアニリド 21.5%	日 本 農 薬 日 産 化 学
	ANK-553	乳	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ -3,4-キシリダイン 30%	A N K 研 究 会 〔クミアイ化学〕 日 本 農 薬
	NK-049	水 和	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン 50%	日 本 化 薬
	NC-U(リニユロ ンとの混用)	水 和	ジシアジアミド 90%	日本カーバイド
7) 小 豆	SL-67	水 和	未 公 開 40%	石 原 産 業
	SL-98	水 和	未 公 開 40%	同 上
	NP-23	水 和	未 公 開 50%	日 本 曹 達
	プロメトリン・アラ クロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミ ノS-トリアジン(プロメトリン) 15% 2-クロール-2',6'-ジエチル(メトキシメチル) アセトアニリド 21.5%	日 本 農 薬 日 産 化 学
8) 菜 豆	SW-730	水 和	2-クロール-4-エチルアミノ-6-イソプロ ピルアミノ-S-トリアジン 50%	日本チバガイギー
	SL-67	水 和	未 公 開 40%	石 原 産 業
	SL-98	水 和	未 公 開 40%	同 上
	SL-54	乳	未 公 開	同 上
	SL-29	乳	未 公 開	同 上

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
8) 菜 豆 (つづき)	Mon-39	乳	N-(フオスフォノメチル)グリシン・イソプロピルアミン塩 41.5%	日本モンサント
	NP-23	水和	未公開 50%	日本曹達
	プロメトリン・アラクロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビス(イソプロピルアミノ)S-トリアジン 1.5% 2-クロル-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 2.0%	日産化学 日本農薬
	ANK-553	乳	N-(1-エチルプロピル)2,6-ジニトロ-3,4-キシリダイン 3.0%	ANK研究会 [クミアイ化学] [日本農薬]
	IPC・アラクロール	乳	イソプロピルN-(3-クロロフェニル)カーバメート(CIPC) 21.5% 2-クロル-2',6'-ジエチル(メトキシメチル)アセトアニリド 21.5%	日本モンサント 日産化学

＜第3表＞ 昭和48年度畑作関係適用性試験供試除草剤成分一覧表

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分名および含有率	委託会社
1) 陸 稲	1. NK-266	水和	2-クロル-4-メチルスルフィニル4'-ニトロジフェニルエーテル 5.0%	日本化薬
	2. SKH-01	水和	2-(4-クロル-6-エチルアミノ-S-トリアジン-2-イルアミノ)-2-メチルプロピオニトリル 5.0%	シエル化学
	3. G-315	水和	5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン 5.0%	ロンスター普及会 [日産化学] [北興化学]
2) トウモロコシ	1. CIPC・アラクロール	乳	イソプロピルN-(3-クロロフェニル)カーバメート(CIPC) 21.5% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(メトキシメチル)-アセトアニリド(アラクロール) 21.5%	日本モンサント 日産化学
3) 甘 藷	1. アラクロール	粒	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(メトキシメチル)-アセトアニリド 2%	日本モンサント

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名および含有率	委 託 会 社
3) 甘 藷 (つづき)	2. NK-P	粒	2-メチルチオ-4,6-ビス・イソプロピルア ミノ-S-トリアジン 1.5%	日 本 化 薬
	3. R-7465	水 和	2-(α -ナフトキシ)-N,N-ジエチルプロ ピオンアמיד 5.0%	R-7465研究会 (ト ー メ ン)
	4. SKH-01	水 和	2-(4-クロル-6-エチルアミノ-S-トリ アジン-2-イルアミノ)-2-メチル- ロピオニトリル 5.0%	シ エ ル 化 学
	5. NP-24	水 和	未 公 開 4.0%	日 本 曹 達
4) 馬 鈴 薯	1. CIPC・アラ クロール	乳	トウモロコシ(1)参照	日本モンサント 日 産 化 学
	2. SKH-01	水 和	3) 甘藷の4参照 5.0%	シ エ ル 化 学
	3. 塩素酸ソーダ	水 溶	NaClO_3 98.5%	昭 和 電 工
	4. NTN-70	水 和	4-アミノ-6-ターシヤリブチル-3-(メ チルチオ)-1,3,4-トリアジン-5-オン 7.0%	日本特殊農薬製造
5) て ん さ い	1. CIPC・アラ クロール	乳	2) トウモロコシの1参照(直播栽培, 移植栽 培)	日本モンサント 日 産 化 学
	2. SL-38	乳	未 公 開 (直播栽培, 移植栽培) 2.0%	石 原 産 業
6) 落 花 生	1. NK-266	水 和	2-クロル-4-メチルスルフィニル-4'-ニ トロジフェニルエーテル 5.0%	日 本 化 薬
	2. プロメトリン (=NK-P)	粒	2-メチルチオ-4,6-ビス・イソプロピルア ミノ-S-トリアジン 1.5%	同 上
	3. A-820	乳	N-セコンダリーブチル-4-ターシヤリブチ ル-2,6-ジニトロアニリン 4.8%	2,4-D協議会 [日 産 化 学] [石 原 産 業]
	4. B-3015・ プロメトリン	乳	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチ オールカーバメイト(B-3015) 5.0% 2-メチルチオ-4,6-ビス・イソプロピルア ミノ-S-トリアジン(プロメトリン) 5%	ク ミ ア イ 化 学

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名および含有率	委 託 会 社
6) 落 花 生 (つづき)	5. プロメトリン・ アラクロール	乳	2-メチルチオ-4,6-ビス(イソプロピルア ミノ)S-トリアジン(プロメトリン) 20% 2-クロル-2,6-ジエチル(メトキシメチル) アセト・アニリド(アラクロール) 15%	日 産 化 学 日 本 農 薬
	6 NTN-80	乳	N-イソプロピルホスホロアミドチオンサン- 0-メチル-0-2-ニトロパラトリル 30%	日 本 特 殊 農 薬
7) 大 豆	1 B-51	乳	未 公 開 50%	クミアイ化学
	2 NP-23	水 和	未 公 開 50%	日 本 曹 達
	3 NP-24	水 和	未 公 開 40%	同 上
	4 NP-25	水 和	未 公 開 40%	同 上
	5. トリフルラリン	乳	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N, N-ジプロピル-パラ-トルイジン 44.5%	塩 野 義 製 薬
	6 CIPC・アラ クロール	乳	(2)トウモロコシ参照 (21.5+21.5%)	日 本 モ ン サ ン ト 日 産 化 学
	7 NK-266・ A	水 和	2-クロル-4-メチルスルフィニル-4'-ニ トロジフェニルエーテル(NK-266) 50% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(メトキシ メチル)アセトアニリド(アラクロール) 15%	日 本 化 薬
	8 NK-266・ P	水 和	2-クロル-4-メチルスルフィニル-4'-ニ トロジフェニルエーテル(NK-266) 50% 2-メチルチオ-4,6-ビス(イソプロピルア ミノ)S-トリアジン(プロメトリン) 10%	同 上
	9 NK-266	乳	7, 8, 参照 20%	同 上
	10 NC-U(リニ ユロンとの混用)	水 和	ジシアジアミド 90%	日 本 カ ー バ イ ト
	11 NK-049・ P	水 和	3,8'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン (NK-049) 70% プロメトリン 10%	日 本 化 薬

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名および含有率	委 託 会 社
7) 大 豆 (つづき)	12. パーナレート・ → スエツブ	粒	S-プロピル(パーナレート)-NN-ジプロ ピルチオカーバメイト 5% メチル-N-(3,4-ジクロルフェニル)カー バメイト(スエツブ) 15%	ト ー メ ン 日 産 化 学
	13. HW-24	乳	2,3,5,6-テトラフルオル-4-クロル-4'- ニトロジフェニルエーテル 25%	保 土 谷 化 学
	14. SKH-01	水 和	2-(4-クロル-6-エチルアミノ-S-ト リアジノ-2-メチルプロピオニトリル 50%	シ エ ル 化 学
8) 小 豆	1. ANK-553	乳	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ -3,4-キシリダイン 80%	A・N・K 研 究 会 〔クミアイ化学〕 日 本 農 薬
	2. CIPC・アラ クロール	乳	2) トウモロコシ 1 参照 (215+215%)	日 本 モ ン サ ン ト 日 産 化 学
	3. トリフルラリン	乳	α, α, α -トリフルオル-2,6-ジニトロ-N,N- ジプロピル-パラートルイジン 44.5%	塩 野 義 製 薬
	4. DNBPA	乳	2,4-ジニトロ-6-セコンダリーブチルフェ ノールアセテート 60%	北 海 三 共
	5. HSW- 7001	乳	DNBPA+CIPC 40%+20%	同 上
9) 菜 豆	1. ANK-553	乳	7) 大豆, 1 1 参照 30%	A・N・K 研 究 会 〔クミアイ化学〕 日 本 農 薬
	2. B-51	乳	未 公 開 50%	ク ミ ア イ 化 学
	3. CIPC・アラ クロール	乳	2) トウモロコシ, 1 参照 (215+215%)	日 本 モ ン サ ン ト 日 産 化 学
	4. HSW- 7201	水 和	CIPC+DCMU 25%+5%	北 海 三 共
	5. DNBPA	乳	DNBPA 60%	同 上

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名および含有率	委 託 会 社
9) 菜 豆 (つづき)	6 HSW— 7 0 0 1	乳	DNBPA 4 0 % CIPC 2 0 %	北 海 三 共
	7 トリフルラリン	乳	α, α, α -トリフルオール-2, 6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-パラートリジン 4 4. 5 %	塩 野 義 製 薬
10) バイナップル	1 アメトリン	水 和	2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 4 7. 5 %	日本チバガイギー
	2 アトラジン	水 和	2-クロール-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 4 7. 5 %	同 上
11) さとうきび	1 アメトリン	水 和	10) の 1 参照	同 上
	2 アトラジン	水 和	10) の 2 参照	同 上
	3 SSH-3 6	液	アシユラム, アイオキシニル 2 3 %	塩 野 義 製 薬
12) 麦 類	1 NP-1 7	水 和	未 公 開 7 0 %	日 本 曹 達
	2 トリブニール	水 和	1, 3-ジメチル-3 (2-ベンゾチアゾール) ウレア 7 0 %	日 本 特 殊 農 薬
13) とん に や く	1 NC-U (リニユロンとの混用)	水 和	ジシアン・ジアミド 9 0 %	日本カーバイド
	2 リニユロン	粒	リニユロン 1. 5 %	丸和バイオケミカル

＜第 4 表＞ 昭和 4 8 年度畑作関係除草剤実用化判定表

区 分	実 用 化	実 ・ 継	継 続	継 ?	中 止
1) 陸 稲	G-3 1 5 水和		NK-2 6 6 水和		SKH-0 1 水和
2) とうもろこし		クロロIPC・乳 アラクロール			
3) 甘 藷	R-7 4 6 5 水和	プロメトリン粒 (=N K-P)	NP-2 4 水和		
		アラクロール 粒	SKH-0 1 水和		
4) 馬 鈴 薯	クロロIPC・アラク ロール 乳 SKH-0 1 水和				

区 分	実 用 化	実 ・ 継	継 続	継 ？	中 止
4) 馬 鈴 薯 (つづき)	NTN-70 水和 クロレートソーダ水溶				
5) てん さい	クロロIPC・アラク ロール乳(直播) クロロIPC・アラク ロール乳(移植)		SL-38乳(直播) SL-38乳(移植)		
6) 落 花 生	B-3015・プロメ トリン 乳	プロメトリン・アラク ロール 乳 プロメトリン粒(=N K-P) NTN-80 乳	NK-266 水和 (マルチ) A-820 乳		
7) 大 豆	クロロIPC・アラク ロール 乳 NK-266 乳 HW-24 乳	NK-266・A水和 NK-266・P水和 バーナレート粒→スエ ツブ粒 バーナレート 粒	NP-23 水和 NP-24 水和 NP-25 水和 トリフルラリン乳 (表面) NK-049・P水和 B-51 乳 SKH-01 水和	NC-U 水和 (リニユロンとの 混用)	トリフルラリン乳 (混和)
8) 小 豆	クロロIPC・アラク ロール 乳 DNBPA 乳 HSW-7001 乳		トリフルラリン乳 (表面) ANK-553 乳		トリフルラリン乳 (混和)
9) 菜 豆	クロロIPC・アラク ロール 乳 DNBPA 乳 HSW-7001 乳		トリフルラリン乳 (表面) ANK-553 乳 B-51 乳 HSW-7201水和		トリフルラリン乳 (混和)
10) さとうきび	SSH-36 液	アメトリン 水和			
11) 小 麦			NP-17 水和 トリブニール 水和		
12) こんにやく		リニユロン 粒		NC-U 水和 (リニユロンとの 混用)	

＜第5表＞ 昭和48年度畑作関係実用化除草剤使用基準

	薬 剤 名	剤型	判 定	処理方法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
1 陸 稲	G-315	水和	実	土壌処理	播 種 後	5～7g/a	火山灰土 壌	寒地を除く全 域	
2 水 稲	クロロIPC・ アラクロール	乳	実・継	土壌処理	播 種 後	(製品) 20～25g/a	全 土 壌	寒 地	初年目につき再確 認が必要
3 甘 藷	R-7465	水和	実	土壌処理	植 付 後	30～40g/a	全 土 壌	温暖地、暖地	広葉雑草多発地は さける
	プロメトリン (=NK-P)	粒	実・継	土壌処理	植 付 後	(製品) 500～600g/a	火山灰土	暖 地	植付後、培土後で の検討
	アラクロール	粒	実・継	土壌処理	植 付 後	10～15g/a	火山灰土	暖 地	再確認が必要 火山灰以外の検討 地域拡大
4 馬 鈴 薯	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	土壌処理	植 付 後 10～15日	(製品) 20～30g/a	全 土 壌	寒 地	
	SKH-01	水和	実	土壌処理	植 付 後 ～15日	10～15g/a	全 土 壌	寒地、寒冷地	萌芽直前はさける
	NTN-70	水和	実	土壌・ 茎葉処理	萌芽直前 まで	5～7g/a	全 土 壌	寒地、寒冷地	
	クロレートソーダ	水溶	実	茎葉処理	収 穫 前 10～14日	(製品) 300～500g/a	全 土 壌	寒 地	後作に麦類を入れ る場合は(製品) 300～350g/aとし 散布後20日以上 経過してから播種 する
5 て ん さい	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	土壌処理	播種直後	(製品) 20～25g/a	全 土 壌	寒 地	直 播
	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	茎葉処理	移植直後 ～15日	(製品) 20～25g/a	全 土 壌	寒 地	移 植
6 落 花 生	B-3015・ プロメトリン	乳	実	土壌処理	播 種 後	(製品) 60～80g/a	全 土 壌	温暖地、暖地	
	プロメトリン・ アラクロール	乳	実・継	土壌処理	播 種 後 ～出芽前	(製品) 20～30g/a	全 土 壌 (砂壤土 砂土を 除く)	温 暖 地	

	薬 剤 名	剤型	判 定	処理方法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
6 落 花 生 (くま)	プロメトリン (=NK-P)	粒	実・継	土壌処理	播 種 後	(製品) 500~600g/a	全 土 壤	温 暖 地	中耕後、培土後での検討
	NTN-80	乳	実・継	土壌処理	播 種 後	20~30g/a	全 土 壤	温暖地、暖地	- 作用性の検討 - 有機リン剤との近接散布との薬害究明 再確認必要
7 大 豆	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	土壌処理	播種直後 ~播種後	(製品) 20~25g/a	全 土 壤	寒 地	
	NK-266	乳	実	土壌処理	播 種 後	40~60g/a	全 土 壤	温暖地以北	
	HW-24	乳	実	土壌処理	播 種 後	15~20g/a	全 土 壤	寒地、寒冷地	ハコベ多発地帯を除く
	NK- 266・A	水和	実・継	土壌処理	播 種 後	(製品) 50~60g/a	全 土 壤	寒 地	寒冷地、温暖地で安全性の検討
	NK- 266・P	水和	実・継	土壌処理	播 種 後	(製品) 50~60g/a	全 土 壤	温暖地中部、 高冷地以北	温暖地での再確認が必要
	バーナレート粒 →スエツ粒	粒	実・継	混和处理 土壌処理	播 種 前 播 種 後 15~250	20 g/a 60 g/a	火山灰土	寒 冷 地	
	バーナレート	粒	実・継	混和处理	播 種 前	20 g/a	火山灰土	寒 冷 地	バーナレート減量 検討 (a i-10~15g/a)
8 小 豆	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	土壌処理	播種直後 ~播種後	(製品) 15~25g/a	砂質系土 壤を除く	寒 地	
	DNBPA	乳	実	土壌処理	出 芽 前	12~18g/a	全 土 壤	寒 地	
	HSW- 7001	乳	実	土壌処理	出 芽 前	(製品) 30~40g/a	全 土 壤	寒 地	
9 菜 豆	クロロIPC・ アラクロール	乳	実	土壌処理	播種直後 ~播種後	(製品) 20~25g/a	全 土 壤	寒 地	
	DNBPA	乳	実	土壌処理	出 芽 前	12~18g/a	全 土 壤	寒 地	
	HSW- 7001	乳	実	土壌処理	出 芽 前	(製品) 30~40g/a	全 土 壤	寒 地	

	薬 剤 名	剤型	判 定	処理方法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
10 さ と う き び	SSH-36	液	実	土壌処理	植付後	(製品) 160~180g/a	全土壌	暖地	沖縄本島株出しでの検討を望む
				茎葉処理	メヒンバ 4ℓまで	(製品) 140~160g/a	全土壌	暖地	
	アメトリン	水和	実・継	土壌処理	植付後	(製品) 20~30g/a	全土壌	暖地	・再確認必要 ・株出しの茎葉処理での検討
11 こ ん に ゃ く	リニユロン	粒	実・継	土壌処理	植付後 培土後	(製品) 400~600g/a	全土壌	寒冷地	ツクサの多発地を除く、培土の際は草を完全に埋没する。 地域拡大(温暖地での検討)

植調協会だより

◎ 農薬・土壌残留分析委員会開催日程

開 催 日	会 議 の 名 称	場 所
昭和49年 4月18~19日	昭和49年度第1回農薬 残留分析委員会	日本都市セン ター本館第7 会議室 TEL 265-8211
5月22~23日	昭和49年度第1回土壌 残留分析委員会	同 上
6月20~21日	昭和49年度第2回農薬 残留分析委員会	同 上

編 集 後 記

雨水の季節となると、暖かい日々が続くようになる。

冬の間、じっと寒さに耐えてきたすべての植物が、そろそろ活動の準備をはじめる。この時期に、移行型の土壌処理用除草剤を散布しておく、と、土壌中で芽生えようとする雑草の息を完全にとめることができる。

「精進は草をみずして草をとる」の諺のように、除草剤の散布は早めにまくとよい。

開 催 日	会 議 の 名 称	場 所
7月23~24日	昭和49年度第2回土壌 残留分析委員会	日本都市セン ター本館第7 会議室 TEL 265-8211
8月7~8日	昭和49年度第3回農薬 残留分析委員会	同 上
9月18~19日	昭和49年度第3回土壌 残留分析委員会	同 上
10月23~24日	昭和49年度第4回農薬 残留分析委員会	同 上

注：当該委員会で審査を希望される場合は、あらかじめ当該期日の10日前までに、事務局あて報告書を提出して下さい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区芝西久保桜川町26番地
電話 東京(03)502-4188(代)

昭和49年2月発行

第7巻第11号

¥90(送料50)

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢 長 人
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸 七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)436-3388番



水田除草の省力化に！

マーシェット粒剤 5

⑧マーシェット粒剤5は低濃度の成分で強い殺草作用があり、1回の散布でノビエなど水田一年生雑草のみならず多年生雑草のマツバイ、ミズガヤツリ、さらにホタルイなど広い殺草巾を示します。さらに温度差または土壌の種類などによる効果の変動がほとんどなく安定した除草効果を発揮します。効果の持続期間が長く、しかも水稲に安全です。

⑧マーシェット粒剤5は「普通物」ですから人畜にも安全で安心してお使いいただけます。他剤との近接散布も可能です。



〔種類名 ブタクロール除草剤〕

※米国モンサント社商標

マーシェット普及会
三共株式会社
日本農薬株式会社
北興化学工業株式会社
事務局 日本モンサント株式会社

除草剤の強力メンバー！

★ウリカワと一般雑草防除に ——《新発売》

モゲサント粒剤

★ノビエ・マツバイに経済的な ——

ニップ粒剤

水稲除草剤
水田除草全般に

ニップ粒剤

直播・陸稲に

スラム乳剤

苗代除草に

アタック乳剤

そ菜の除草に
直播・畑全般に

ニップ乳剤

畑作の省力除草に

畑作用ニップ粒剤

発売元 三洋貿易株式会社 東京都千代田区神田錦町2-11

ワンタッチでOK ロンスターシステム!

* 容器のまま散布できる水田除草剤

ロンスター[®] 乳剤

- ①ワンタッチで簡単に散布できます
- ②成苗はもちろん、稚苗移植の除草にも最適です。
- ③田植前から安定した高い除草効果が持続します。



—— ロンスター普及会 ——

日産化学・北興化学

事務局 日産化学工業(株)農薬事業部内
東京都千代田区神田錦町3-7-1

原体製造元: ローヌ・プーラン

日本列島から

ノビエ・マツバイ一掃!!



水田除草剤

マメット[®] 粒剤

マメット粒剤は、水田のノビエ、マツバイなど強
害雑草に極めてすぐれた効果があります、その上、
今までの除草剤では効果のない大きくなったノビ
エにも効き、田植後おそくまくことができるので、
労力配分がうまくいき、また、ホタルイにも効果
があります。もちろん人畜や魚には大変安全です。

三笠化学工業株式会社
福岡市天神4丁目9番1号

八洲化学工業株式会社
東京都中央区日本橋本町1-6(大和ビル)

お求めは農協で……